

2 科目構成と学習目標との対応

本校の教育課程は、高専機構モデルコアカリキュラム（高専 MCC）に準拠し、「基礎的能力」、「専門的能力」、「分野横断的能力」を習得するために、授業科目と特別活動から構成される。さらに、授業科目は一般科目と専門科目に大別されます。学習目標との対応は以下のとおりです。

- (1) 技術者として必要な基礎学力と専門的知識を身につけ、各学科の学習目標を達成できるように下記のとおり教育課程を編成しています。

技術者として必要な基礎学力を身につけるため、高専 MCC に準拠した「基礎的能力」、「分野横断的能力」を修得するための授業科目を設け、講義形式や演習形式の学習方法により展開しています。一般科目は高等学校と同じ科目や大学の 1・2 年次で履修する科目に相当する授業科目から構成されており、専門の学問や技術を修得するために必要な基礎学力の養成と、社会人として必要な一般教養の修得を目標としています。

また、技術者として必要な専門的知識を身につけ、各学科の学習目標（下表参照）を達成するために必要な専門的授業科目を設け、講義形式や演習形式の学習方法により展開しています（高専 MCC の「専門的能力」に対応する）。

- (2) 意欲的・実践的に、ものづくりや課題の解決に最後まで取り組むことができるように下記のとおり教育課程を編成しています。

専門科目は各学科における基礎的な学問や技術、その応用に関する科目で、特に実験・実習・製図・卒業研究などを通じて、自主的で創造性豊かな技術者となるための資質を養います。簡単な課題の解決からスタートし、学年進行に伴って徐々に複雑な課題に取り組むよう実験・実習・製図・卒業研究の中で課題テーマを設定しています。特に最後まであきらめずに取り組むことを重視しています。

また、特別活動は第1学年から第3学年で実施し、有意義な学生生活をおくるために必要な生活習慣を身につけます。さらに、各種行事を計画・実施することにより、学生の自主性や創造力、根気強さ、学科を横断した協調性などを養います。

- (3) 幅広い視点から自らの立場を理解し、地域・国際社会や環境に配慮できるように下記のとおり教育課程を編成しています。

幅広い視点から自らの立場を理解できるよう社会系科目やコンピュータリテラシーなどの科目を設け、講義形式や演習形式の学習方法により展開しています。また、地域課題解決等をテーマとした課題に取り組むことにより、地域・国際社会や環境に配慮できる人材を育成します。さらに国際社会を理解する上で必須の外国語（英語）科目を設け、講義形式や演習形式の学習方法により展開しています。

- (4) 自分の考えを正しく表現し、公正に意見を交換することができるように下記のとおり教育課程を編成しています。

自分の考えを正しく表現できるよう国語科目を設け、講義形式や演習形式の学習方法により展開しています。また、各学年で取り組む課題について意見交換し、発表する機会を繰り返し設けることによりプレゼンテーション能力を育成します。

< 機械工学科 >

機械工学科の学習目標を達成するために下記のとおり教育課程を編成しています。

材料、エネルギー、計測制御、生産加工などの知識と技術を習得するため、1 年生から 5 年生までに多くの専門科目を配置しています。社会に対する技術の責任を学ぶための文理融合科目や、福祉、環境、ロボットなどをテーマとした課題解決型の実験・演習に加え、卒業研究を通して人・社会・環境が調和する技術を生み出す応用力を身につけられるようにしています。

< 電気工学科 >

電気工学科の学習目標を達成するために下記のとおり教育課程を編成しています。

エネルギー、エレクトロニクス、制御、通信、コンピュータ等の知識と技術を習得するために、1 年生から 5 年生までに多くの専門科目を配置しています。実験や卒業研究を通して、専門的知識と技術を「ものづくり」や課題の解決に応用できるようにしています。

< 電子情報工学科 >

電子情報工学科の学習目標を達成するために下記のとおり教育課程を編成しています。

情報・電子・通信などの基礎知識と技術を習得するために、1 年生から 5 年生までに多くの専門科目を配置しています。実験や演習、卒業研究を通して、システム設計や開発を行うことができる能力を身につけられるようにしています。

< 環境都市工学科 >

環境都市工学科の学習目標を達成するために下記のとおり教育課程を編成しています。

くらしを支える施設の整備、防災、環境保全に関する知識を習得するために、1 年生から 5 年生までに社会のニーズに合わせバランス良く多くの専門科目を配置しています。実験実習や設計製図などの実践教育に加え、卒業研究を通して、環境都市分野の様々な課題を解決できる技術力・創造力を身につけられるようにしています。

< 建築学科 >

建築学科の学習目標を達成するために下記のとおり教育課程を編成しています。

建築を取りまく文化や技術の基礎知識を習得するため、1 年生から 5 年生までに多くの専門科目を配置して、創造性を育てていきます。住生活の課題を設計演習で取り組み、学年が上がるにつれて地域・都市環境にわたる知識も習得していきます。卒業研究を通して建築への様々な課題の解決に応用できるようにしています。

各学科と高専MCC，学位授与機構専攻の区分との対応

学科名	学科の学習目標	高専MCC	学位授与機構専攻の区分
機 械 工 学 科	材料，エネルギー，計測制御，生産加工などの知識と技術を習得し，人・社会・環境が調和する技術を創生することができる。	機械系分野	機械工学
電 気 工 学 科	エネルギー，エレクトロニクス，制御，通信，コンピュータ等の知識と技術を習得し，「ものづくり」や課題の解決に応用できる。	電気・電子系分野	電気電子工学
電子情報工学科	情報・電子・通信などの基礎知識と技術を習得し，システム設計・開発を行うことができる。	電気・電子系分野 情報系分野	電気電子工学 情報工学
環境都市工学科	くらしを支える施設の整備，防災，環境保全に関する知識を習得し，より良い都市づくりを目的とした課題に対処することができる。	建設系分野	土木工学
建 築 学 科	建築を取りまく文化や技術の基礎知識を習得し，住生活から地域・都市環境にわたる建築への様々な課題の解決に応用できる。	建築系分野	建築学

3 成績の評価方法に関する方針

科目ごとに設定された到達目標に対して，次の方法で成績評価を行う。

1. 講義形式の授業科目においては，試験・小テスト・課題・レポートなどにより到達度を判定し，総合的に成績評価する。
2. 実技を伴う授業科目においては，実技テスト・筆記試験・課題・ポートフォリオなどにより到達度を判定し，総合的に成績評価する。
3. 実験・実習・製図およびPBL（Project Based Learning）などの実践的科目においては，課題・レポート・発表・ポートフォリオなどにより到達度を判定し，総合的に成績評価する。
4. 卒業研究においては，研究成果をまとめた論文・研究発表などにより到達度を判定し，総合的に成績評価する。

4 成績の評価および単位認定基準

各科目の成績は，シラバスに基づき総合的に評価します。1～3 年次は 100 点法により 50 点以上，4～5 年次は 60 点以上であれば合格となり所定の単位を修得できます。

なお成績は S・A・B・C・D・不可の評語で表示し，評点との関係は次のとおりです。ただし，授業科目又は履修形態等によっては，合格又は認定の評語とすることがあります。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| (1) 1～3 年次 | (2) 4～5 年次 |
| S (評点 90 点以上) | S (評点 90 点以上) |
| A (評点 80 点以上～90 点未満) | A (評点 80 点以上～90 点未満) |
| B (評点 70 点以上～80 点未満) | B (評点 70 点以上～80 点未満) |
| C (評点 60 点以上～70 点未満) | C (評点 60 点以上～70 点未満) |
| D (評点 50 点以上～60 点未満) | 不可 (評点 60 点未満) |
| 不可 (評点 50 点未満) | |

■ 本科のアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本校では，教養と工学の基礎を身につけ，創造的な能力，高度な科学技術に対応できる実践力，地域社会への関心と国際的な視野を有する人材を育成しています。

1 アドミッション・ポリシー

入学者として次のような学生を求めます。

- 1) 中学校で学んだことを身につけている人
- 2) 特に，数学・理科の基礎学力がある人

また，本科 4 年次編入学の場合，入学者として次のような学生を求めます。

- 1) 工学の基礎を身につけている人
- 2) 向上心を持ち，より高い目標に向けて努力する人
- 3) 自主性と協調性を持ち，社会貢献する意欲のある人

2 求める学生像：全学科共通

- 1) ものづくりに関心があり、様々な課題に意欲を持って取り組む人
- 2) 社会のルールを守り、向上心を持って学校生活を送る人
- 3) 将来、技術者として社会の発展に貢献したい人

3 それぞれの学科が求める学生像

- 1) 機械工学科
 - ・ものづくりに興味があり、創造力豊かな技術者になりたい人
 - ・自動車・飛行機・ロボットなどの機械やシステムに関心がある人
 - ・機械の仕事を通して、エネルギー・環境・福祉などの分野で社会に貢献したい人
- 2) 電気工学科
 - ・ロボット・コンピュータなどのしくみに興味がある人
 - ・エネルギー・通信・ITなどの生活を支える技術に関心がある人
 - ・最先端技術に関心があり、社会の発展に貢献したい人
- 3) 電子情報工学科
 - ・コンピュータの原理やプログラミングなどに興味がある人
 - ・情報・電子・通信の融合技術を身につけたい人
 - ・最先端の情報通信技術で社会に貢献したい人
- 4) 環境都市工学科
 - ・道路・橋・空港・上下水道などの都市づくりに興味がある人
 - ・都市づくりを通して地域社会に貢献したい人
 - ・くらしと自然を守る都市づくりに熱意がもてる人
- 5) 建築学科
 - ・建築の材料や構造、環境やデザインに興味がある人
 - ・建築を作る過程（設計・施工・管理）に関心がある人
 - ・建築を通して生活環境づくりに貢献したい人

4 入学者選抜の実施方法

- 1) 推薦による選抜
推薦書、調査書および適性検査（数学）・面接の結果を総合して判定します。
- 2) 学力検査による選抜
学力検査の成績および調査書をもとに総合的に判定します。
学力検査は、理科、英語、数学、国語の4教科について筆記試験（マークシート方式）を行い、各教科 100 点満点の合計 400 点満点とします。
1 教科でも受検しないと失格（不合格）になります。
- 3) 帰国子女特別選抜
学力検査の成績、調査書および面接の結果をもとに総合的に判定します。
学力検査は、理科、英語、数学、国語の4教科について筆記試験（マークシート方式）を行い、各教科 100 点満点の合計 400 点満点とします。
面接を含み 1 教科でも受検しないと失格（不合格）になります。

■ 専攻科のディプロマ・ポリシー（修了認定の方針）

専攻科は、高等専門学校における教育の基礎の上に、より高度な専門知識と技術を教授して、先端技術にも対応できる創造的な技術開発能力を備え、幅広い分野で活躍できる研究開発型技術者の育成を目的としています。

修了判定にあつては、学則第 54 条で定める要件を満たした者を修了と認定します。

なお、修了時には本校が掲げる専攻科課程共通の学習目標及び電子機械工学専攻、環境建設工学専攻が掲げるそれぞれの学習目標を達成できるよう授業科目が設定されていますので、修了認定を以てそれを達成したと認めることができます。

1) 専攻科課程の学習目標

- ・科学技術や情報を利用してデザインし創造することに喜びを知り、たゆまず努力することができる。
- ・問題を発見・提起し、修得した技術に関する知識や理論によって解析し、解決までできる。
- ・国際社会を多面的に考えられる教養と語学力を持ち、社会や自然環境に配慮できる。
- ・実践的な体験をとおして、地域の産業や社会が抱える課題に積極的に対処できる。
- ・チームプロジェクト等を遂行するに必要な計画性をそなえ、論理的な記述・発表ができる。

2) 電子機械工学専攻の学習目標

機械、電気、電子、情報などの専門分野に関する高度な技術と専門以外の幅広い知識を修得し、修得した技術を活用することができる。

3) 環境建設工学専攻の学習目標

建設、環境、建築などの専門分野に関する高度な技術と専門以外の幅広い知識を修得し、修得した技術を活用することができる。

■ 専攻科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

1 教育課程編成の基本的な考え方

教育課程編成にあたっては、本校が掲げる専攻科課程の学習目標に照らして、学生が必要な学力や専門知識等を無理なく、また効率よく修得できるよう全体の授業科目数及び単位数を適切に配置しています。

なお、修了時に修得すべき学習目標を満たすよう授業科目が設定されていますので修了認定を以て学習目標の達成と認めることができます。

2 科目構成と学習目標との対応

専攻科の授業科目は、電子機械工学専攻、環境建設工学専攻の共通の一般科目及び専門共通科目と各専攻で異なる専門展開科目から構成されています。専攻科共通のA～E及び各専攻で異なるFの学習目標を達成すべく科目配置が行われています。

本科4,5学年及び専攻科1,2学年を一貫する「創造工学プログラム」を設定しています。このプログラムにおける学習・教育目標は、専攻科課程の学習目標と連関するものとし、科目構成との対応は以下の通りとなります。なお、学位取得申請における分野別必要単位に対しても十分な科目数を確保しています。

<両専攻共通>

- A. 科学技術や情報を利用してデザインし創造することに喜びを知り、たゆまず努力することができるように下記のとおり教育課程を編成しています。

デザインや創造に必要な工学基礎力を身に付けるため、①設計システム系、②情報倫理系、③材料バイオ系、④力学系、⑤社会技術系の5つのプログラム科目群を設け、講義形式や演習形式の学習方法により展開しています。また、PBL（Problem-based learning）の経験から創造の喜びを知るための演習系科目を設け、計画・実行、課題解決・ものづくり、データ分析・工学的考察、発表を重視した総合的な学習を展開しています。

- B. 問題を発見・提起し、修得した技術に関する知識や理論によって解析し、解決までできるように下記のとおり教育課程を編成しています。

学士の能力を有した技術者として専門工学の知識と能力を身に付けるため、基盤学科の専門展開科目、ならびに数学（情報処理）・物理による理論解析能力を身に付ける科目を設け、講義形式や演習形式の学習方法により展開しています。

- C. 国際社会を多面的に考えられる教養と語学力を持ち、社会や自然環境に配慮できるように下記のとおり教育課程を編成しています。

今後ますます必要となる国際性や、問題解決能力などの涵養を望む社会からの要請に対処すべく外国語によるコミュニケーション能力を身に付ける科目を設け、講義形式や演習形式の学習方法により展開しています。さらに、語学力の習得を確認するために修了までに「総合英語力到達度試験」に合格することを義務付けています。

文化の継承や健康の増進は持続可能な社会へ向けた共通課題であり、それらに対処するためのリベラルアーツ系科目を設けるとともに、現代社会・地域社会、環境問題を理解し対応するための文理融合科目を設け、講義形式や演習形式の学習方法により展開しています。

- D. 実践的な体験をととして、地域の産業や社会が抱える課題に積極的に対処できるように下記のとおり教育課程を編成しています。

地域企業などが抱える実務上の問題に対する解決法を体得するための方法として、長期のインターンシップを実施しています。また、実務上の問題として、いろいろな環境技術について検討できるよう環境関連科目を設け、講義形式や演習形式の学習方法により展開しています。さらに、C. D. の学習目標に対して、特別研究分野に関連した技術者倫理/環境関連のテーマについてのレポート提出を義務付けています。

- E. チームプロジェクト等を遂行するに必要な計画性をそなえ、論理的な記述・発表ができるように下記のとおり教育課程を編成しています。

与えられた制約の下で計画的に仕事を進める能力を身に付ける演習系科目を設け、基盤学科の枠を超えた分野横断的なチームプロジェクトを展開しています。

日本語による論理的な記述、コミュニケーションに対処するためのリベラルアーツ系科目を設けるとともに、自主的・継続的に研究に取り組む特別研究を配置し、計画性、論理性、プレゼンテーションスキルを重視した総合的な学習を展開しています。なお、特別研究の成果について学会等での外部発表を義務付けています。

<電子機械工学専攻>

- F. 機械、電気、電子、情報などの専門分野に関する高度な技術と専門以外の幅広い知識を修得し、修得した技術を活用することができるように下記のとおり教育課程を編成しています。

機械、電気、電子、情報などのいくつかの工学知識を修得し、幅広い考察ができるよう、準学士課程において基盤として学んだ専門分野の授業科目群と専門分野以外の授業科目群を設け、講義形式や演習形式の学習方法により展開しています。

<環境建設工学専攻>

- F. 建設、環境、建築などの専門分野に関する高度な技術と専門以外の幅広い知識を修得し、修得した技術を活用することができるように下記のとおり教育課程を編成しています。

建設、環境、建築などのいくつかの工学知識を修得し、幅広い考察ができるよう、準学士課程において基盤として学んだ専門分野の授業科目群と専門分野以外の授業科目群を設け、講義形式や演習形式の学習方法により展開しています。

3 成績の評価方法に関する方針

科目ごとに設定された到達目標に対して、次の方法で成績評価を行う。

1. 講義形式の授業科目においては、試験の得点や小テスト・課題・レポートなどにより到達度を判定し、総合的に成績評価する。
2. 実技を伴う授業科目においては、ポートフォリオ、実技試験、筆記試験、課題などにより到達度を判定し、総合的に成績評価する。
3. 創造工学演習などの実践的科目においては、課題、レポート、発表、ポートフォリオなどにより到達度を判定し、総合的に成績評価する。
4. インターンシップにおいては、研修態度、理解力、実行力、報告・相談、実習成果、報告書、発表などにより到達度を判定し、派遣企業等からの評価、巡回指導の評価、報告書の評価、プレゼンテーションの評価を総合して成績評価する。
5. 特別研究においては、研究成果をまとめた論文、研究発表などにより到達度を判定し、総合的に成績評価する。

4 成績の評価および単位設定基準

シラバスに基づき、100点法により60点以上であれば合格となり所定の単位を修得できます。

なお成績はS・A・B・C・不可の評語で表示し、評点との関係は次のとおりです。ただし、授業科目又は履修形態等によっては、合格又は認定の評語とすることがあります。

S (評点 90 点以上)	B (評点 70 点以上～80 点未満)	不可 (評点 60 点未満)
A (評点 80 点以上～90 点未満)	C (評点 60 点以上～70 点未満)	

■ 専攻科のアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

専攻科は、高等専門学校における教育の基礎の上に、より高度な専門知識と技術を教授して、先端技術にも対応できる創造的な技術開発能力を備え、幅広い分野で活躍できる研究開発型技術者の育成を目的としています。

1 アドミッション・ポリシー

入学者として次のような学生を求めます。

- 1) 高等専門学校などにおいて工学の基礎を修得した人
- 2) 幅広い分野の工学知識について学習する意欲のある人
- 3) 国際的に通用する技術者として、社会貢献する意欲のある人

2 入学者選抜の実施方法

1) 推薦による選抜

入学者の選抜は、面接、出身学校長から提出された推薦書、調査書および TOEIC のスコアを総合判定して行います。

2) 学力検査による選抜

入学者の選抜は、学力検査、出身学校長から提出された調査書、面接を総合判定して行います。

学力検査は、数学及び専門科目について筆記試験を行い、英語については出願時に提出された、TOEIC のスコアにより評価します。

3) 社会人特別選抜

入学者の選抜は、面接（業務経験等の概要又は専門科目に関すること）、出身学校長から提出された調査書及び TOEIC のスコアを総合判定して行います。

■ 本校のアセスメント・ポリシー（学修成果の評価に関する方針）

本校では、学校全体として教育改善を継続して行うためのアセスメントポリシーを定めています。このポリシーに基づいて表に示す方法により、アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーの妥当性の検証、および、学校全体、学科・専攻、科目の3段階で定めた学修成果等の評価を関連部署で行い、その結果をそれぞれの段階にフィードバックすることで教育改善を継続しています。

また、教育改善が、学校全体で継続的に行われていることを「自己点検評価報告書」としてまとめ、自己評価・点検することによりアセスメントポリシーが機能していることを継続的に確認しています。

さらに「自己点検評価報告書」の結果を運営諮問会議で報告し、さらなる改善や課題等について意見を外部から伺うことで学校全体の教育システムのPDCAサイクルが機能していることを確認・検証するとともに、その結果を「外部評価報告書」としてまとめて本校のWebサイトで公開しています。

評価 レベル	入学時 (アドミッション・ポリシー)	在学中 (カリキュラム・ポリシー)	卒業時 (ディプロマ・ポリシー)
学校全体	入試倍率 入学動機に関するアンケート	留年率、中途退学率 卒業生・修了生アンケート 企業アンケート調査	就職率・進学率 卒業生・修了生アンケート 就職先・進学先
学科・専攻	学科・専攻毎の入試倍率	卒業・修了要件達成状況 単位取得状況 GPAによる達成度確認 外部客観テスト(CBT, TOEIC 等)	卒業・修了要件達成状況 単位取得状況 GPAによる達成度確認
科目		単位取得状況 授業アンケート 授業の方法や内容・授業計画 (シラバスの内容)	

外部機関による評価

Evaluation and Accreditation from External Organization

1 大学改革支援・学位授与機構による高等専門学校機関別認証評価

高等専門学校は、その教育研究水準の向上に資するため、教育研究活動等の総合的な状況（教育研究、組織運営、及び施設設備）について、7年以内ごとに文部科学大臣から認証を受けた評価機関による評価（認証評価）を受けることが義務づけられています。

「認証評価」は、

- 大学改革支援・学位授与機構が定める高等専門学校評価基準に基づいて、高等専門学校を定期的に評価することにより、高等専門学校の教育研究活動等の質を保証すること。
- 評価結果を各高等専門学校にフィードバックすることにより、各高等専門学校の教育研究活動等の改善に役立てること。
- 高等専門学校の教育研究活動等の状況を明らかにし、それを社会に示すことにより、公共的な機関として高等専門学校が設置・運営されていることについて、広く国民の理解と支持が得られるよう支援・促進していくこと。

を目的として実施されています。

本校は、平成19年度、26年度及び令和3年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による高等専門学校機関別認証評価を受審し、高等専門学校評価基準を満たしていることの認定を受けています。

併せて本校の教育研究活動等の状況を社会にわかりやすく示すために、評価報告書（評価結果）及び自己評価書を本校ホームページ上で公表しています。



1 Evaluation and Accreditation from the National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

The Colleges of Technology are required to be evaluated and accredited its education and research structures, administrative organization and facilities every less than seven years by the NIAD-QE, which is authorized to conduct the evaluation from the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT), in order to enhance the level of the education and research activities at the colleges of technology.

Ishikawa College was examined and recognized in 2007, 2014 and 2021 to comply the Standards for the Establishment of Colleges of Technology and other relevant laws and regulations, and to meet the Standards for Evaluation and Accreditation of Colleges of Technology set by NIAD-QE.

2 大学改革支援・学位授与機構による専攻科に関する認定

本校は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による認定専攻科（平成12年4月設置、電子機械工学専攻・環境建設工学専攻）を対象とした審査において、平成17年度に続いて平成24年度に受審し、認定されました。

併せて平成26年度には「学士の学位の授与に係る特例適用」の認定（特例適用専攻科）を申請し、その認定を受けました。平成27年度より、学位申請者はこの制度の適用を受けることになり、これまで同機構が行っていた「試験」が省略され、一定の条件を満たすことにより学士（工学）の学位が授与されます。さらに平成30年度には特例の適用認定を受けた専攻科における教育の実施状況の審査（レビュー）を受審し、認定されました。

2 Accreditation of Advanced Engineering Courses from NIAD-QE

Our Advanced Engineering Courses were accredited both by the National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education (NIAD-QE) in 2000, 2005, and 2012. The courses also received special accreditation from the institution in 2014. Since 2015, the graduates acquire bachelor's degrees from NIAD-QE without examinations from the institution. Furthermore, the courses have been accredited after undergoing the review in 2018 on the implementation status of education in advanced engineering courses that received special accreditation.

3 技術者教育に関する国際認証評価(JABEEによる教育プログラムの認定)

本校は、本科4年生から専攻科修了までの4年間で構成される「創造工学プログラム複合工学修得コース」を設定し、平成18年5月から「工学（融合複合・新領域）関連分野」で工業専門教育の国際認証協定であるワシントン協定加盟組織、日本技術者教育認定機構（JABEE）より国際的に通ずる工業教育機関として認定されています。修了生は、技術者として必要な基礎的知識・能力を修得したことについてJABEEの統一の基準により保証され、国際的に通用する技術者として社会へ巣立つことになります。

3 JABEE Accredited Program

In May, 2006, the Multidisciplinary Engineering Course of NIT, Ishikawa College received accreditation from the Japan Accreditation Board for Engineering Education (JABEE).

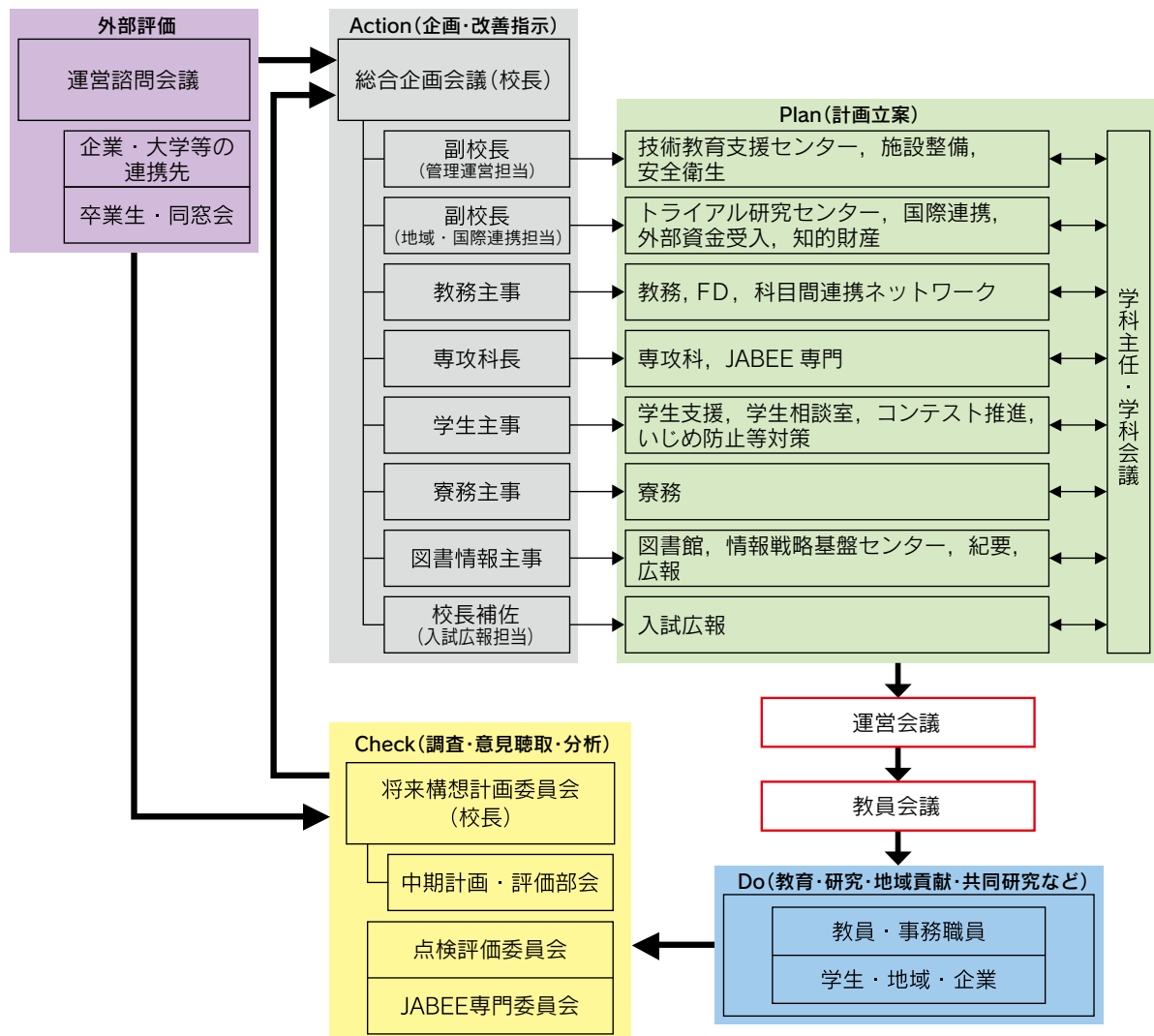
Students who have completed the course are recognized by JABEE's concerted standards as having obtained the fundamental knowledge and skills necessary for engineering, and can thus enter into society as qualified international engineers.



教育点検改善システム

Educational Development System

Plan→Do→Check→Action の一連のプロセスを経て教育点検および教育改善が行われています。



教職員数

Number of Staff

R5.4.1 現在(人)

区 分		教 員										職 員		合 計	
		校		教		准 教		講		助					
		長		授		授		師		教		男	女	男	女
校 長		1												1	0
一般教育科				10	2	5	4	3						18	6
専門学科	機械工学科			4		4		1		1				10	0
	電気工学科			5		1		2						8	0
	電子情報工学科			5		3		1		1				10	0
	環境都市工学科			3		4		1	1					8	1
	建築学科			4	1	3		1	1					8	2
計		1	0	31	3	20	4	9	2	2	0	0	0	63	9
事務部												12	15	12	15
技術教育支援センター												7	4	7	4
合 計		1		34		24		11		2		38		110	

役 職 員

Executives

R5.4.1 現在

役 職	氏 名	役 職	氏 名
校 長	嶋 倉 剛	電子情報工学科主任	長 岡 健 一
副 校 長(管理運営担当)	富 田 充 宏	環境都市工学科主任	津 田 誠
副 校 長(地域・国際連携担当)	道 地 慶 子	建築学科主任	村 田 一 也
校長補佐(教務主事)	義 岡 秀 晃	図書館長	佐 野 陽 之
校長補佐(学生主事)	畔 田 博 文	情報戦略基盤センター長	松 本 剛 史
校長補佐(寮務主事)	岩 竹 淳	トライアル研究センター長	熊 澤 栄 二
校長補佐(図書情報主事)	佐 野 陽 之	技術教育支援センター長	富 田 充 宏
校長補佐(専攻科長)	山 田 悟	学生相談室長	佐々木 香 織
校長補佐(入試広報担当)	徳 井 直 樹	事務部長	本 芳 則
一般教育科主任	富 山 正 人	総務課長	亀 田 潤
機械工学科主任	堀 純 也	学生課長	河 岸 孝 政
電気工学科主任	上 町 俊 幸		

歴代校長

List of the Presidents

在 籍 期 間	氏 名	在 籍 期 間	氏 名
昭和40.4.1～昭和48.4.1	永 井 時 一	平成10.4.1～平成16.3.31	松 村 文 夫
昭和48.4.1～昭和54.4.1	三 輪 武 雄	平成16.4.1～平成23.3.31	金 岡 千嘉男
昭和54.4.1～昭和61.3.31	喜 内 敏	平成23.4.1～平成28.3.31	村 本 健一郎
昭和61.4.1～平成2.3.31	柳 場 重 正	平成28.4.1～令和4.3.31	須 田 義 昭
平成2.4.1～平成10.3.31	横 山 恭 男	令和4.4.1～	嶋 倉 剛

名誉教授

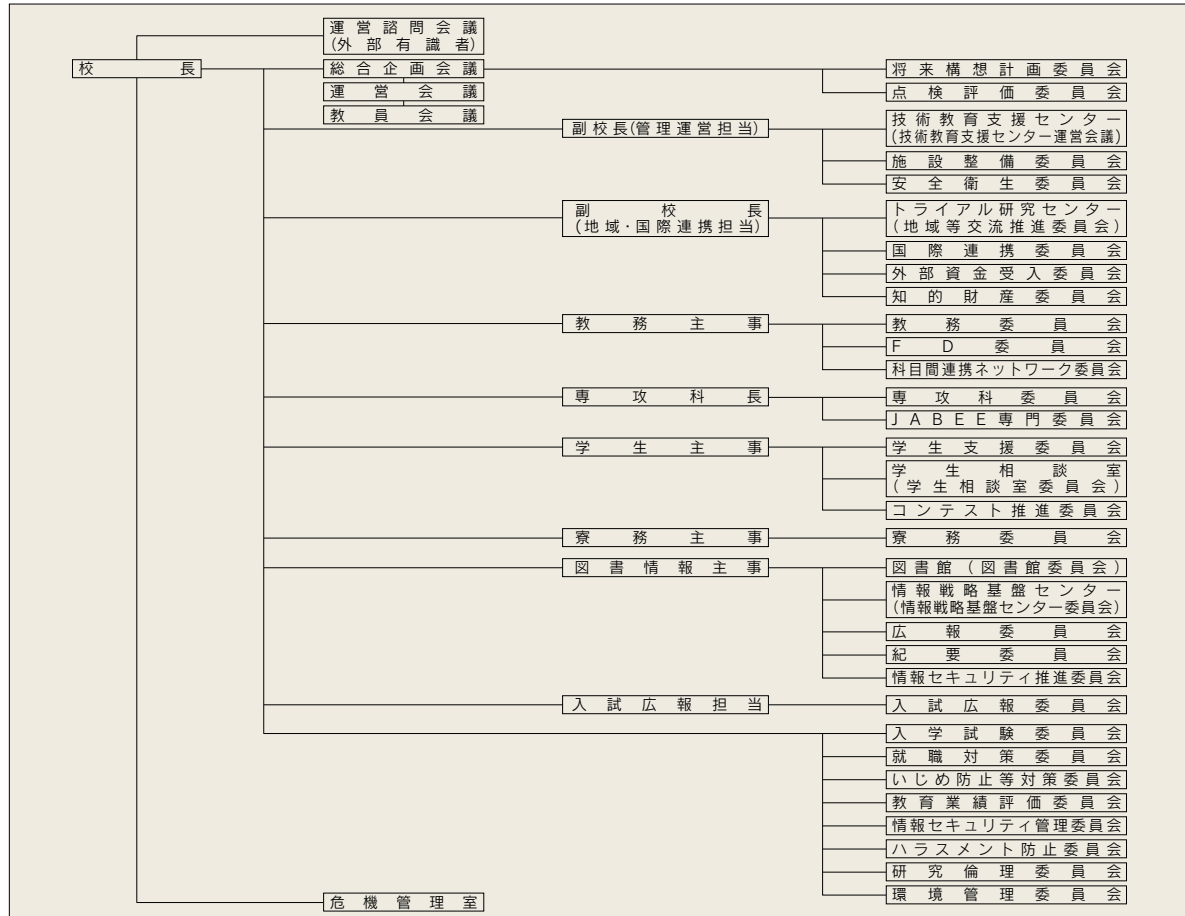
Professors Emeritus

称号授与年月日	氏名	称号授与年月日	氏名
昭和63. 4. 1	深川 保則	平成25. 4. 1	松田 理一
平成10. 4. 1	中林 敏之	〃 25. 4. 1	岡野 修一
〃 10. 4. 1	山本 一雄	〃 25. 4. 1	小泉 徹健
〃 12. 4. 1	鹿渡 強	〃 25. 4. 1	松崎 良男
〃 13. 4. 1	細川 一夫	〃 26. 4. 1	堀田 素志
〃 13. 4. 1	西村 外志雄	〃 26. 4. 1	山岸 英樹
〃 16. 4. 1	松村 文夫	〃 26. 4. 1	竹本 邦夫
〃 16. 4. 1	吉元 栄武	〃 27. 4. 1	北田 幸彦
〃 16. 4. 1	徳山 栄一	〃 27. 4. 1	石渡 博
〃 17. 4. 1	金谷 利勝	〃 27. 4. 1	阿蘇 和寿
〃 17. 4. 1	坂東 務	〃 27. 4. 1	太田 伸子
〃 17. 4. 1	布本 博	〃 27. 4. 1	村本 健一郎
〃 18. 4. 1	田保 昭典	〃 28. 4. 1	高島 要
〃 18. 4. 1	米澤 邦男	〃 28. 4. 1	竹下 哲義
〃 19. 4. 1	鶴崎 明	〃 30. 4. 1	鈴木 康文
〃 19. 4. 1	前田 勉	〃 31. 4. 1	森田 義則
〃 20. 4. 1	白山 政敏	〃 31. 4. 1	深見 哲男
〃 21. 4. 1	出村 禧典	〃 31. 4. 1	西澤 辰男
〃 22. 4. 1	畑 時男	令和 2. 4. 1	奥田 浩司
〃 23. 4. 1	金岡 千嘉男	〃 4. 4. 1	須田 義昭
〃 23. 4. 1	櫻野 仁志	〃 4. 4. 1	川原 繁樹
〃 23. 4. 1	割澤 泰	〃 4. 4. 1	瀬戸 悟
〃 23. 4. 1	中村 繁		

運営組織

Organization Chart

R5. 4. 1 現在



学科紹介

Departments

一般教育科

Department of General Education



化学実験風景

豊かな教養から創造的技術へ

一般教育科は、心身ともに豊かな技術者を養成するため、また、あらゆる専門分野に共通の基礎をなすものとして、各学科共通の一般科目(人文・社会系、自然科学系、外国語、保健・体育、芸術)の授業を担当し、さらに成人教育等の特別教育活動においても、重要な役割を担っています。

人文・社会系科目では視聴覚教材の活用、自然科学系科目では実験を重視し、語学では内容言語統合型学習を行うなど、高等教育に適合した内容となっています。

The Department of General Education plays an important role in training physically and mentally well-rounded engineers, in teaching general subjects common to all departments (humanities and social sciences, natural sciences, foreign languages, health and physical education, and the arts) as a common foundation for all specialized fields, and in special education activities such as adult education.

The content of these courses is adapted to higher education using audiovisual materials in humanities and social science courses, focusing on experimentation in natural science courses, and CLIL(Content and Language Integrated Learning) in language courses.



英語授業風景



体育授業風景

● 専任教員 Teaching Staff ●

担当科目 Subject	職 名 Title	氏 名 Name	学 位 Degree	専 門 分 野 Major Field
国 語 Japanese Language	教 授 Professor	團野 光晴 DANNO Mitsuharu	修士(文学) M.A.	現代日本文学 Modern Japanese Literature
	准 教 授 Associate Professor	吉本 弥生 YOSHIMOTO Yayoi	博士(文学) Ph.D.	日本近現代文芸／日本近代思想 Modern Japanese Literature / Modern Japanese Philosophy
	准 教 授 Associate Professor	山崎 梓 YAMAZAKI Azusa	修士(文学) M.A.	日本近世文学 Japanese Early Modern Literature
歴 史 History	准 教 授 Associate Professor	永井 隆之 NAGAI Ryuji	博士(文学) Ph.D.	日本史／日本大衆文化研究 Japanese History / Japanese Pop Culture Studies
哲学・倫理 Philosophy& Ethics	教 授 Professor	佐々木香織 SASAKI Kaori	修士(地域研究) M.A.S.	芸術哲学 Philosophy of Art
数 学 Mathematics	教 授 Professor	松島 敏夫 MATSUSHIMA Toshio	博士(理学) D.Sci.	複素多変数関数論／複素解析 Several Complex Variables / Complex Analysis
	教 授 Professor	河合 秀泰 KAWAI Hideyasu	博士(理学) D.Sci.	可換環論 Commutative Ring Theory
	教 授 Professor	富山 正人 TOMIYAMA Masato	博士(数理学) D.Sci.	代数の組合せ論 Algebraic Combinatorics
	教 授 Professor	森田 健二 MORITA Kenji	博士(理学) D.Sci.	代数幾何学 Algebraic Geometry
	准 教 授 Associate Professor	服部 多恵 HATTORI Tae	博士(理学) D.Sci.	微分幾何学 Differential Geometry
	准 教 授 Associate Professor	小林 竜馬 KOBAYASHI Ryoma	博士(理学) D.Sci.	位相幾何学 Topology
	講 師 Associate Professor	村山 太郎 MURAYAMA Taro	博士(理学) D.Sci.	確率論 Probability Theory
	講 師 Associate Professor	吉江 佑介 YOSHIE Yusuke	博士(情報科学) Ph.D.	量子ウォーク／代数的グラフ理論 Quantum walk / Algebraic graph theory
物 理 Physics	教 授 Professor	佐野 陽之 SANO Haruyuki	博士(工学) D.Eng.	表面科学／光物性 Surface Science / Optical Physics
	准 教 授 Associate Professor	古崎 広志 KOZAKI Hiroshi	博士(理学) D.Sci.	宇宙物理学 Astrophysics
化 学 Chemistry	教 授 Professor	畔田 博文 KURODA Hirofumi	博士(工学) D.Eng.	有機・高分子合成 Organic and Polymer Synthesis
保健体育 Health & Physical Education	教 授 Professor	南 雅樹 MINAMI Masaki	博士(学術) Ph.D.	特定評価／発育発達 Human Performance Measurement / Human growth and Development
	教 授 Professor	北田 耕司 KITADA Koji	博士(医学) Ph.D.	運動生理学 Exercise Physiology
	教 授 Professor	岩竹 淳 IWATAKE Jun	博士(体育学) Ph.D.	コーチング／トレーニング Coaching / Training
	講 師 Associate Professor	和久井健吾 WAKUI Kengo	博士(工学) Ph.D.	スポーツバイオメカニクス Sports Biomechanics
	嘱託教授 Professor	川原 繁樹 KAWAHARA Shigeki	教育学士 B.Edu.	スポーツバイオメカニクス Sports Biomechanics
英 語 English	教 授 Professor	川畠 嘉美 KAWABATA Yoshimi	修士(文学) M.A.	認知言語学 Cognitive Linguistics
	准 教 授 Associate Professor	紺谷 雅樹 KONYA Masaki	文学修士 M.A.	イギリスルネサンス文学 English Renaissance Literature
	准 教 授 Associate Professor	モアナヌ・チャールトン・ビル MOANANU Charlton Bill	修士(TESOL) M.A.	英語教授法 Teaching English to Speakers of Other Languages
	准 教 授 Associate Professor	香本 直子 KOMOTO Naoko	博士(言語学) Ph.D.	形式意味論 Formal Semantics
	准 教 授 Associate Professor	鬼頭 美帆 KITO Miho	修士(応用言語学) M.A.	異文化間コミュニケーション・応用言語学 (バイリンガル研究) Cross Cultural Communication & Applied Linguistics (Bilingualism)
	准 教 授 Associate Professor	西村 知修 NISHIMURA Tomomichi	博士(文学) Ph.D.	生成文法 Generative Grammar

機械工学科

Department of Mechanical Engineering



CAD 演習

未来をひらく機械工学

機械工学は、あらゆる工業技術の基幹であり、また、未来をひらく先端技術でもあります。近年ますます進む機械化、自動化、高度化などの社会の要請に対応すべく、本学科では今日の材料やエネルギー利用に関する理論と実際、高度化の進む情報処理技術などについて、講義や実験などを通して体得できるよう万全の指導体制を整えています。さらに将来いかなる分野にも適応できる基礎学力と柔軟な応用力をもった機械技術者の育成に努めています。

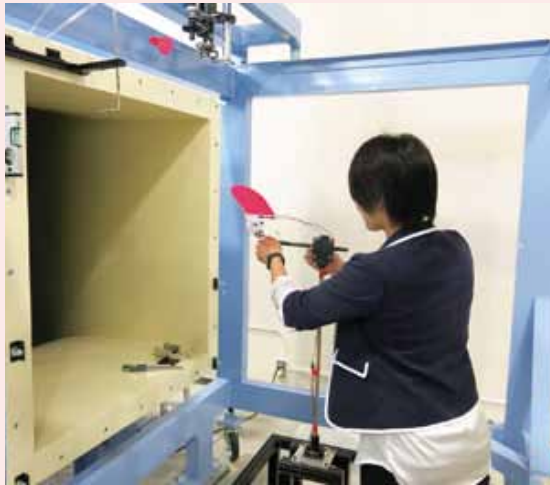
Mechanical engineering is the means which provide us with the basic technology for all fields of modern industry, and which will lead us into the future. To cope with the increasing social demand in recent years of mechanization, automation of production and rapid development of technology, our students study the latest technologies dealing with, for example, new materials, energy, and advanced information processing. In order to become excellent mechanical engineers, students learn, through lectures and experiments, not only the basic principles of mechanical engineering, but also their practical applications to various engineering fields.



自動搬送機構



非接触三次元デジタイザ



風洞実験装置



3次元測定機

● 専任教員 Teaching Staff ●

職 名 Title	氏 名 Name	学 位 Degree	研 究 テ ー マ Themes of Research
教 授 Professor	義岡 秀晃 YOSHIOKA Hideaki	博士(工学) D.Eng.	複雑系のミクロ凝固に関する研究 Study on Microsolidification in Complex Systems
教 授 Professor	石田 博明 ISHIDA Hiroaki	博士(理学) D.Sci.	計算物理学による物性解析 Material Analysis by Computer Simulation Physics
教 授 Professor	堀 純也 HORI Junya	博士(工学) D.Eng.	自動化機器およびメカニズムの設計 Design of Automation and Mechanism
教 授 Professor	藤岡 潤 FUJIOKA Jun	博士(工学) D.Eng.	ロボットの精度向上に関する研究 Study on Improvement of Robot Accuracy
准 教 授 Associate Professor	長谷川雅人 HASEGAWA Masato	博士(工学) D.Eng.	感温性粒子を含む熱流体に関する研究 Study on thermo-fluids with thermo-sensitive particles
准 教 授 Associate Professor	山下 順広 YAMASHITA Yorihiro	博士(工学) D.Eng.	レーザ粉体肉盛による総形成技術 Layer Formation Technology by Laser Metal Deposition
准 教 授 Associate Professor	池田 生馬 IKEDA Ikuma	博士(工学) D.Eng.	能動的音響制御による騒音低減および人の震えの低減手法開発 Noise Reduction by Active Noise Control and Reduction of tremor of human
准 教 授 Associate Professor	穴田 賢二 ANATA Kenji	博士(工学) D.Eng.	外傷発生メカニズムに基づいた防護用品の開発 Development of protective equipment based on injury mechanism
講 師 Associate Professor	倉部 洋平 KURABE Yohei	博士(工学) D.Eng.	繊維強化熱可塑性樹脂の摩擦攪拌接合法の開発 Development of Friction Stir Welding Process for fiber Reinforced Thermoplastics
助 教 Assistant Professor	寺本 裕志 TERAMOTO Hiroshi	博士(工学) D.Eng.	複数円形及び非円形噴流の流れ構造に関する研究 Study on flow structure of multiple circular and non-circular jets

電気工学科

Department of Electrical Engineering



電気自動車

電力から電子技術まで個性に合わせて

近代社会の実現に大きく貢献したエネルギー、エレクトロニクス、制御、通信、そしてコンピュータなどは、いずれも電気工学が深く関わりを持ってきた分野で、本学科はこれらの領域で活躍できる技術者の育成を目指しています。

実験実習に多くの時間を充てることにより、基礎的な技術、知識を効率よく体得させ、また、応用への展開も容易となるようカリキュラムを構成し、近年の目覚ましい情報、通信技術の進展にも、科目および内容の両面から対応を図っています。

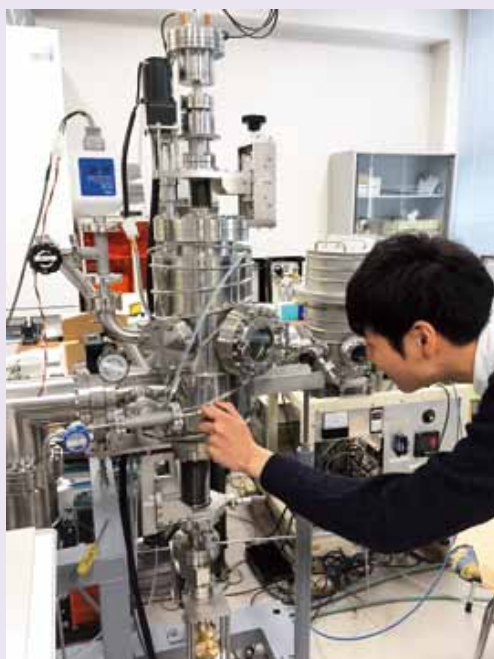
Electrical engineering are playing an increasingly vital role in every field of industry in the contemporary world. The curriculum covers, a wide range of specialized fields, such as energy, electrical machinery, electronics, communication, computers, and control theory. Our aim is to provide students with comprehensive knowledge in electrical engineering. Through conducting a wide range of experiments, they can obtain fundamental knowledge of theory and technical skills.



デジタル回路実験



高電圧工学実験



新素材デバイス作製装置



ACサーボモータの制御実験

● 専任教員 Teaching Staff ●

職 名 Title	氏 名 Name	学 位 Degree	研 究 テ ー マ Themes of Research
教 授 Professor	山 田 悟 YAMADA Satoru	博士(工学) D.Eng.	機能性酸化物薄膜の作製と評価 Preparation and Characterization of Functional Oxide Thin Films
教 授 Professor	徳井 直樹 TOKUI Naoki	博士(工学) D.Eng.	デジタル信号処理と応用 Digital Signal Processing and Application
教 授 Professor	上町 俊幸 KANMACHI Toshiyuki	博士(工学) D.Eng.	ACサーボモータの制御と応用 Control of AC Servo Motor
教 授 Professor	河合 康典 KAWAI Yasunori	博士(工学) D.Eng.	電気刺激を用いた遠隔リハビリテーションの制御 Control of Tele-Rehabilitation by using Electrical Stimulation
教 授 Professor	東 亮一 HIGASHI Ryoichi	博士(工学) D.Eng.	UHF放送波の異常伝搬に関する研究 Study on Anomalous Propagation of UHF Radio Waves
准 教 授 Associate Professor	岡本 征晃 OKAMOTO Masaaki	博士(工学) D.Eng.	磁場閉じ込め装置におけるプラズマ消滅過程に関する研究 Study of Disruption in Magnetic Confinement Device
講 師 Associate Professor	田中 文章 TANAKA Fumiaki	博士(工学) D.Eng.	高電圧・パルスパワー技術を用いた放電・プラズマ応用に関する研究 Study of Discharge and Plasma Application Using High Voltage and Pulsed Power Technology
講 師 Associate Professor	矢吹 明紀 YABUKI Akinori	博士(工学) D.Eng.	ロボットマニピュレータの高速・高精度なモーションコントロール High Performance Motion Control of Robot Manipulator
嘱託教授 Professor	瀬戸 悟 SETO Satoru	博士(工学) D.Eng.	有機・無機半導体薄膜の成長と太陽電池への応用 Growth of Organic and Inorganic Semiconduction Films

電子情報工学科

Department of Electronics and Information Engineering



情報セキュリティ特別授業

システム思考のできる人材育成

スマートフォン、インターネット、SNS 等これら情報通信ツールは今や爆発的普及を見せています。その背景には、電子・情報・通信分野の高度技術が隠されており、今も絶え間なく進歩しています。技術の進歩に伴って、地球規模で様々な問題が起こっていることも事実ですが、技術の進歩を止めるわけにはいきません。人類には人間と地球の両方に利益をもたらす高度技術の開発が求められており、電子情報工学はその重要な鍵を握っています。

本学科では、このような社会状況をふまえ、電子工学、情報工学、通信工学の豊富な知識を持ちながら、21 世紀の高度技術社会にふさわしいセンスを身につけた電子情報工学技術者の育成を目指しています。

Owing to the rapid development of advanced technology in the fields of electronics, information, and communication, people are capable of communicating using smartphones, SNS and the internet. Electronics and information engineering develops technologies which contribute to both the improvement of the global environment and technological development. Such advances will benefit both human beings and the earth.

The department aims at training the students to be skilled engineers combining the knowledge of electronics, information, and communication engineering in the highly developed technological society of the 21st century.



3Dプリンタ



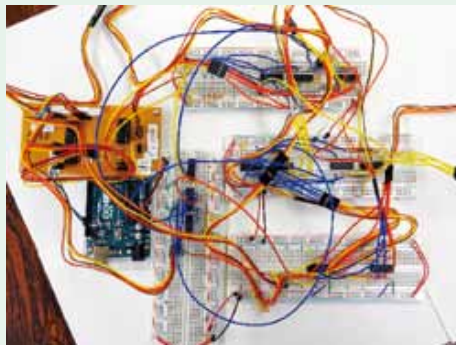
システム設計演習



人工智能



紫外光による半導体表面の電子状態評価実験



CPU作成



4K映像・音響システムによる評価実験

● 専任教員 Teaching Staff

職 名 Title	氏 名 Name	学 位 Degree	研 究 テ ー マ Themes of Research
教 授 Professor	山田 洋士 YAMADA Yoji	博士(工学) D.Eng.	デジタル信号処理アルゴリズムとその実現 Theory and Application of Digital Signal Processing
教 授 Professor	山田 健二 YAMADA Kenji	博士(工学) D.Eng.	電子材料表面の分析 Analysis of Electronic Material Surface
教 授 Professor	長岡 健一 NAGAOKA Kenichi	博士(情報工学) Ph.D.	情報通信ネットワークシステムの性能評価 Performance Evaluation of Network Systems
教 授 Professor	小村良太郎 KOMURA Ryotaro	博士(工学) D.Eng.	リモートセンシング, GIS による森林衰退の解析 Analysis of Forest Decline Using Remote Sensing and GIS
教 授 Professor	越野 亮 KOSHINO Makoto	博士(工学) D.Eng.	人工知能, IoT, VR Artificial Intelligence, Internet of Things, Virtual Reality
准 教 授 Associate Professor	松本 剛史 MATSUMOTO Takeshi	博士(工学) D.Eng.	VLSI設計の形式的検証とデバッグ支援 Formal Verification and Debugging Support of VLSI Design
准 教 授 Associate Professor	川除 佳和 KAWAYOKE Yoshikazu	博士(工学) D.Eng.	イメージメディアの品質評価 Assessment of Image Media Quality
准 教 授 Associate Professor	嶋田 直樹 SHIMADA Naoki	博士(工学) D.Eng.	人間支援を目的としたロボットの高性能モーションコントロール Fine Motion Control of Robots for Human Support
講 師 Associate Professor	任田 崇吾 TODA Sogo	博士(工学) D.Eng.	光を用いた生体計測と解析 Biomedical Measurement and Analysis Using Light
助 教 Assistant Professor	三吉 建尊 MIYOSHI Takeru	修士(工学) M.Eng.	コンピュータビジョン, 機械学習 Computer Vision, Machine Learning

環境都市工学科

Department of Civil Engineering



ドローン実習

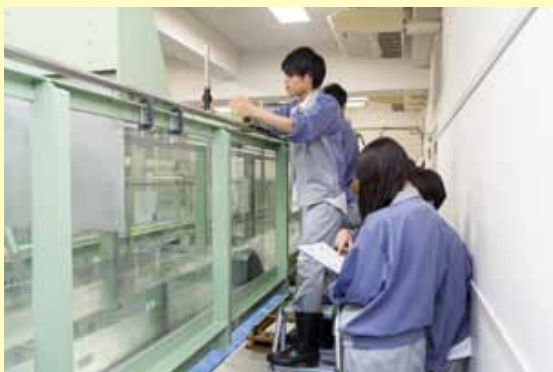
くらしと自然を守る建設技術

環境都市工学は、自然環境との調和を図りながら、快適な市民生活に必要な社会基盤を整備するためにはなくてはならない総合技術です。ここには、都市計画の策定、それに基づいた道路、鉄道、発電所、上下水道、公園、ダム、橋梁などの都市施設の建設・運用を、貴重な自然環境を保全しつつ行う技術が含まれています。

本学科は、このような技術を習得し、かつ人間的でリーダーシップを持った実践的な技術者を育てることを目的としています。この目的を実現するために、本学科のカリキュラムは実践的な実習、演習を中心にして、基本的な工学理論及びコンピュータ科学などの先端的な技術の習得が可能のように構成されています。

Civil engineering is a basic technology essential for creating comfortable and safe human life by creating the infrastructures of human civilization while preserving the natural environment. Civil engineering technologies are used to map out the lines of land and city development and, accordingly, to design, construct and operate such facilities as roads, railroads, power plants, water supplies, parks, tunnels, bridges and dams without destroying the valuable natural environment.

The department aims to educate civil engineers to become competent in planning, designing, and executing projects with a spirit of harmony and leadership. For this purpose, our department's curriculum attaches great importance to experiments and practices in designing and drawing, as well as basic knowledge of civil engineering and computer science.



水理実験



環境実験



土質実験



測量実習

● 専任教員 Teaching Staff ●

職 名 Title	氏 名 Name	学 位 Degree	研 究 テ ー マ Themes of Research
教 授 Professor	富田 充宏 TOMIDA Michihiro	博士(工学) D.Eng.	RC 及び PC 部材の非線形解析 Nonlinear Analysis of RC and PC Structures
教 授 Professor	重松 宏明 SHIGEMATSU Hiroaki	博士(工学) D.Eng.	各種地盤材料の特性解明とその改良 Characterization of Various Geomaterials and its Improvement
教 授 Professor	津田 誠 TSUDA Makoto	博士(工学) D.Eng.	橋梁の長寿命化に関する研究 Study on Long Life Extension of Concrete
准 教 授 Associate Professor	大橋 慶介 OHASHI Keisuke	博士(工学) D.Eng.	河川表流水と地下水および土砂輸送の相互作用に関する研究 Interaction between river surface water, groundwater, and sediment transportation
准 教 授 Associate Professor	高野 典礼 TAKANO Morihiro	博士(工学) D.Eng.	農耕土壌からの硝酸流出抑制に関する研究 Study on Control of Nitrogen Leaching from Agricultural Soil
准 教 授 Associate Professor	新保 泰輝 SHIMBO Taiki	博士(工学) D.Eng.	地震時の土構造物の破壊に関する研究 Study on Earthquake-Induced Failure of Soil-Structure
准 教 授 Associate Professor	寺山 一輝 TERAYAMA Kazuki	博士(工学) D.Eng.	持続可能な地域をつくるための交通行動分析・評価手法の開発 Development of Travel Behavior Analysis and Evaluation Technique for Sustainable Regions
講 師 Associate Professor	前田 健児 MAEDA Kenji	博士(工学) D.Eng.	鋼構造物の維持管理に関する研究 Study on Maintenance of Steel Structures
講 師 Associate Professor	小杉 優佳 KOSUGI Yuka	博士(工学) D.Eng.	硫黄サイクルとANAMMOXを活用した畜産関連排水処理の開発 Development of Livestock Wastewater Treatment Utilizing Sulfur Cycle and ANAMMOX Reaction

建築学科

Department of Architecture



建築設計デザインワーク

未来を創造する建築学科

建築学は、人間生活の「器」ともいえる建築を創造するために、人間の歴史・文化・経済・心理などにわたる幅広い教養ならびに芸術的感性と工学が総合化されるユニークな技術体系です。

建築学科では、一般科目で基礎的な教養を養う一方、専門科目では建築計画を主体として環境・構造・設備の総合である建築設計において実践的な実習を行っています。また、より快適で安全な建築に必要な構造安全性と建築材料・生産技術および建築環境・設備工学等における高度の専門知識を教授することにより、建築における多様な分野の人材を育成しています。

In order to produce architecture space that can be thought of as ‘Chora’ for human life society, we must combine a broad range of knowledge of subjects such as history, culture, economics, and psychology with our artistic sensibility and engineering education into a unique organization.

While students gain fundamental knowledge in the general course, they study architecture as comprehensive design. In the department’s specialized course, they have practical training in architecture planning as a main subject considered structure, environment and equipment. In order to become specialists in various fields of architecture, aiming to create safer and more comfortable buildings, they also learn the latest knowledge of architectural engineering such as structural safety, building material, construction technology and environmental engineering of architecture.



模型による構造実験



環境調整実験設備での実験



設計製図



ワークショップ（間伐材家具の制作）

● 専任教員 Teaching Staff ●

職 名 Title	氏 名 Name	学 位 Degree	研 究 テ ー マ Themes of Research
教 授 Professor	道地 慶子 DOCHI Keiko	修士(芸術学) M.Arts.	アーバンファブリックスから見た「住み続けられるマチ」を実現する 高密度都市の研究 Study on the Experience of Urban Density Through Focusing on Urban Fabrics
教 授 Professor	熊澤 栄二 KUMAZAWA Eiji	博士(工学) D.Eng.	景観構造の研究 Study on Relation Between Meaning Structure of Places and Scenery
教 授 Professor	恩村 定幸 ONMURA Sadayuki	博士(工学) D.Eng.	建築空間および周辺環境における環境制御に関する研究 Study on Environmental Control of Indoor and Outdoor Space
教 授 Professor	船戸 慶輔 FUNATO Keisuke	博士(工学) D.Eng.	構造システムの数値解析手法に関する研究 Study on Numerical Analysis Method of Structure System
教 授 Professor	村田 一也 MURATA Kazuya	博士(工学) D.Eng.	建築都市理論と社会的状況の関連について Study on the Relations Between Architectural / Urban Theories and Social Circumstances
准 教 授 Associate Professor	内田 伸 UCHIDA Shin	修士(工学) M.Eng.	デザイン理論と建築設計手法について、建築アーカイブス Design Theory and Architectural Design Method, Architectural Archives
准 教 授 Associate Professor	森原 崇 MORIHARA Takashi	博士(学術) Ph.D.	交通機関騒音に対する社会反応に関する研究 Study on Community Responses to Transportation Noise
准 教 授 Associate Professor	豊島 祐樹 TOYOSHIMA Yuki	博士(工学) D.Eng.	歴史的な建築・市街地の再生整備に関する研究 Study on the Revitalization of Historic Buildings and Landscapes
講 師 Associate Professor	小川 福嗣 OGAWA Fukutsugu	博士(工学) D.Eng.	情報技術の活用した防災の高度化に関する研究 Study on improvement of disaster prevention using information technology
講 師 Associate Professor	秦 明日香 HATA Asuka	博士(工学) D.Eng.	近現代建築家の制作思想についての研究 Study on Design Theory of Modern Architects

専攻科

Advanced Engineering Courses

近年の科学技術の高度化、情報化、国際化に伴い、地域における産業界もこれらを避けて発展することは不可能になっています。この流れに対応するため、本校では、それまでの実践的中堅技術者の育成に留まることなく、より高度な専門的知識と技術を身につけた研究開発型技術者の育成を目指して教育研究を施す専攻科を設けています。

The sustainability of growth of local industries now depends upon the successful utilization of rapidly advancing information-oriented, and internationalized technology. Bearing this in mind, the College of Technology aims to produce not only graduates well-versed in traditional engineering skills, but also those with a more finely-honed set of research and development skills and technical knowledge. In order to accomplish this, an Advanced Engineering Course has been established which will offer high-level classes in areas such as research and education.

(1) 教育制度

高専における専攻科は、高専 5 年間に加え、さらに 2 年間の高度な教育研究を行う課程です。所定の単位を修得して一定の条件を満たすことにより、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から修了と同時に「学士(工学)」の学位を授与されます。なお、「協同教育」の一環として、1 年次に 2 ヶ月の長期インターンシップを実施しています。

(1) Educational System

The Advanced Engineering Course is a two-year course that begins after graduating from the five-year regular course. Students are provided with advanced education and upon graduation receive a baccalaureate in engineering by the approval of NIAD-QE, National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education. Furthermore, as part of “a cooperational education” curriculum, a two month internship program for first-year-students has been implemented.

(2) 専攻と定員

(a) 電子機械工学専攻… 12 名

本専攻は、製造技術やシステム構築技術に関連する基幹学科を基盤としており、メカトロニクス技術、計測制御技術、情報通信、ネットワーク技術、新素材開発、さらにその周辺技術を広く教授します。また、特別研究、創造工学演習等の工学教育により、技術と人間環境との調和を図りながら、電子機械工学分野の研究開発に創造的・実践的に関わる総合技術者を育成します。

(b) 環境建設工学専攻… 8 名

本専攻は、都市や住環境など生活空間を創造・提供する基幹学科を基盤としており、力学を基礎とした構造設計、環境と機能を基礎としたシステムの都市計画、居住計画、さらに快適な生活空間設計のためのコンピュータ利用技術等を広く教授します。その上で、特別研究、創造工学演習等の工学教育により、技術と自然環境との調和を図りながら、環境建設工学部門の研究開発に創造的・実践的に関わる総合技術者を育成します。

(2) Courses and Class Sizes

(a) Electronic and Mechanical Engineering Course…12 students

This course is based on mechanical engineering, electrical and electronic and information engineering. We teach mechatronics, control system design, communication engineering, new material development, and related areas. Moreover, in graduate research and creative engineering projects, we educate engineering students to harmonize technology with the environment and produce engineers who can play a creative and practical part in research and development in the field of electronics and mechanical engineering.

(b) Architecture and Civil Engineering Course… 8 students

This course is based on architecture and civil engineering. We aim to create more comfortable living and working environments. We teach structural planning, regional planning based on environmentalism and functionality, housing planning, and computer assisted techniques. In graduate research and creative engineering projects, we educate engineering students to harmonize technology with the natural environment, and moreover produce engineers who can play a creative and practical part in research and development in the field of architecture and civil engineering.

(3) 進 路

就職：企業の採用試験においては大学卒と同等に扱われます。就職先は、県内外の機械、電気、電子、情報、通信関係の製造業やサービス業、土木、建築、環境関係の建設業およびこれらの分野に関連する民間企業、国や地方自治体、公社公団等となっています。

進学：大学院（金沢大学、北陸先端科学技術大学院大学、福井大学、早稲田大学と推薦入学協定を締結しています）

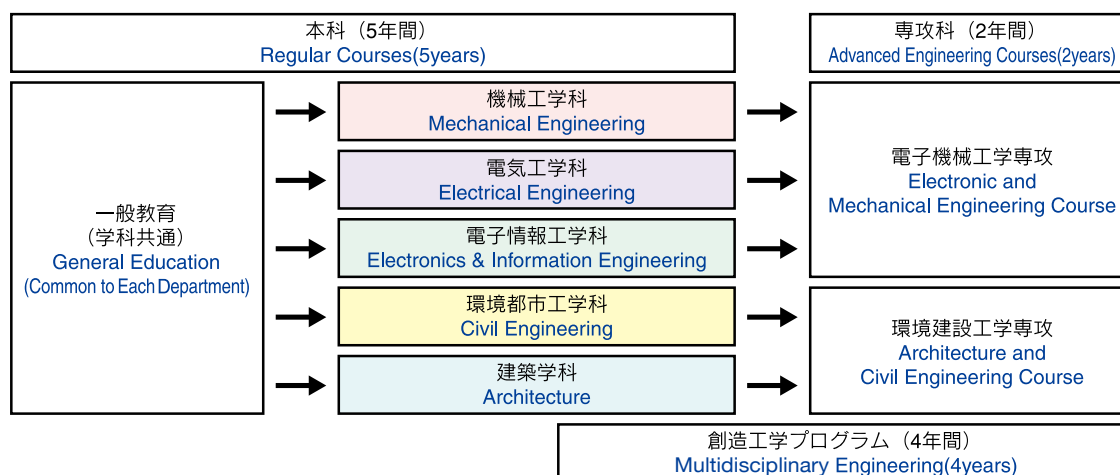
(3) After upon Graduation

Employment : Companies evaluate the academic achievement of graduates as having obtained a Bachelor's Degree. Employment is in the manufacturing, service and construction industries, national or local governments, and public corporations.

Education : Further education at the graduate level. (Established agreements with Kanazawa University, Japan Advanced Institute of Science and Technology, Fukui University and Waseda University allowing students to transfer by letter of recommendation.)

創造工学プログラム

Multidisciplinary Engineering



本科 5 年間および専攻科 2 年間の教育プログラムに加え、本科 4 年から専攻科 2 年までの 4 年間を対象とした教育プログラムが設定されています。このプログラムは国際的に通用する技術者の育成を目指すもので、その学習・教育目標は下記 A～E のとおりです。

- A) 科学技術や情報を利用してデザインし創造することに喜びを知り、たゆまず努力する技術者を育成する。
- B) 問題を発見・提起し、修得した技術に関する知識や理論によって解析し、解決までできる技術者を育成する。
- C) 国際社会を多面的に考えられる教養と語学力を持ち、社会や自然環境に配慮できる技術者を育成する。
- D) 実践的な体験を通して、地域の産業や社会が抱える課題に積極的に対処できる技術者を育成する。
- E) チームプロジェクト等を遂行するに必要な計画性をそなえ、論理的な記述・発表ができる技術者を育成する。

さらに、本プログラムは専攻科入学時において、複数の工学の知識を修得し幅広い考察ができる技術者を育成するための複合工学修得コース（JABEE（日本技術者教育認定機構）認定）と、専門工学を探究し深い考察ができる技術者を育成するための専門工学探究コースに分けられます。いずれのコースも人間性に富み、創造性豊かな実践力のある研究開発型技術者の育成を目指しています。

The core subjects assigned to the 4th and 5th years of our regular courses, and the corresponding educational program of our advanced course, are designed as an integrated 4-year educational program. This program is designed to create engineers that meet global standards, and its goals are as follows :

- A) To have students realize the value of utilizing technology to foster new products, and to educate them to understand the importance of strenuous effort.
- B) To educate students to be able to identify problems and propose rational solutions, employing theoretical analysis and acquired skills and knowledge.
- C) To help students develop their linguistic skills and have better understanding of the global community, and to educate future engineers who can take society and the natural environment into consideration.
- D) To educate future engineers who use practical experience to deal with real problems of society.
- E) To provide students with the necessary planning ability to execute a team project and give a logical presentation.

This program consists of two courses ; 1) The JABEE (Japan Accreditation Board for Engineering Education) accredited General Engineering to educate engineers who are equipped with knowledge of diverse fields of engineering and explore it widely, 2) Specialized Engineering to educate engineers who work in a specialized field of engineering and explore it thoroughly.

教育課程

Curriculums

平成30年度入学者から本課程を適用しています。

This curriculum is applied to the first-year students in the year 2018, and those who will be admitted hereafter.

一般科目 General Subjects

各学科共通

Common to Each Course

授 業 科 目 Subjects				単位数 Number of Credits	学年別配当 Distribution by Years				
					1 1st	2 2nd	3 3rd	4 4th	5 5th
必修科目 Required Subjects	国 語 Japanese	国 語 I	Japanese I	4	4				
		国 語 II	Japanese II	2		2			
		国 語 III	Japanese III	2			2		
		日 本 文 学	Japanese Literature	1				1	
	社 会 Humanities & Social Science	歴 史 I	History I	2	2				
		歴 史 II	History II	1		1			
		倫 理	Ethics	2		2			
		地 理	Geography	1			1		
		政 治 ・ 経 済	Politics & Economy	1			1		
		哲 学	Philosophy	1				1	
		法 学	Law	1				1	
		数 学 Mathematics	基礎数学 A	Basic Mathematics A	4	4			
	基礎数学 B		Basic Mathematics B	3	3				
	解 析 学 I		Differential & Integral Calculus I	4		4			
	解 析 学 II		Differential & Integral Calculus II	4			4		
	代数・幾何 I		Algebra & Geometry I	2		2			
	代数・幾何 II		Algebra & Geometry II	1			1		
	総 合 数 学		Mathematics Exercise	1			1		
	理 科 Science	物 理 学 I	Physics I	2	2				
		物 理 学 II A	Physics II A	2		2			
		物 理 学 II B	Physics II B	1		1			
		総 合 物 理	General Physics	1			1		
		化 学 I	Chemistry I	2	2				
		化 学 II	Chemistry II	3		3			
	保健体育 Health & Physical Education	保健体育 I	Health & Physical Education I	2	2				
		保健体育 II	Health & Physical Education II	2		2			
		保健体育 III	Health & Physical Education III	2			2		
		保健体育 IV	Health & Physical Education IV	2				2	
		保健体育 V	Health & Physical Education V	1					1
	芸 術 Art	美 術	Fine Arts	1	1				
	外国語 Foreign Language	基礎オーラル コミュニケーション	Basic Oral Communication	2	2				
		基礎英語 I	Basic English I	2	2				
		基礎英語 II	Basic English II	2		2			
		英語表現 I	English Expression I	2	2				
		英語表現 II	English Expression II	4		4			
		英語表現 III	English Expression III	1			1		
総 合 英 語		Comprehensive English	1			1			
英語講読 I		English Reading I	2			2			
英語講読 II		English Reading II	2				2		
英語講読 III		English Reading III	1					1	
一般必修科目開講単位合計 Total of Offered Credits of General Subjects			77	26	25	17	7	2	

専門科目 Major Subjects

機械工学科 Mechanical Engineering

授 業 科 目 Subjects			単位数 Number of Credits	学年別配当 Distribution by Years				
				1 1st	2 2nd	3 3rd	4 4th	5 5th
必修科目 Required Subjects	応 用 数 学 A	Applied Mathematics A	1				1	
	応 用 数 学 B	Applied Mathematics B	2				2	
	確 率 ・ 統 計 I	Probability & Statistics I	1				1	
	確 率 ・ 統 計 II	Probability & Statistics II	1					1
	数 学 基 礎 演 習 ^{*1}	Basic Exercise in Mathematics	1				1	
	数 学 応 用 演 習 ^{*1}	Advanced Exercise in Mathematics						
	応 用 物 理 I	Applied Physics I	2			2		
	応 用 物 理 II	Applied Physics II	2				2	
	機 械 工 学 基 礎	Introduction to Mechanical Engineering	1	1				
	コンピュータリテラシー	Computer Literacy	1	1				
	情 報 処 理 I	Information Processing I	1		1			
	情 報 処 理 II	Information Processing II	1			1		
	数 値 計 算 法	Numerical Calculation Method	2				2	
	材 料 力 学 I	Strength of Materials I	2			2		
	材 料 力 学 II	Strength of Materials II	2				2	
	材 料 強 度 学	Strength & Fracture of Materials	1					1
	機 械 要 素	Machine Element	1		1			
	工 業 力 学	Engineering Mechanics	1			1		
	機 構 学	Mechanism	1			1		
	機 械 力 学	Mechanical Dynamics	2				2	
	熱 工 学 I	Thermal Engineering I	2			2		
	熱 工 学 II	Thermal Engineering II	2				2	
	熱エネルギー変換	Thermal Energy Conversion	1					1
	流 れ 学 I	Fluid Engineering I	2			2		
	流 れ 学 II	Fluid Engineering II	2				2	
	流 体 力 学	Fluid Dynamics	1					1
	材 料 学 I	Material Science & Technology I	2			2		
	材 料 学 II	Material Science & Technology II	1				1	
	計 測 工 学	Measurement Engineering	1				1	
	機 械 工 作 法 I	Manufacturing Processes I	2	2				
	機 械 工 作 法 II	Manufacturing Processes II	1		1			
	電 気 工 学	Electrical Engineering	2				2	
	電 子 情 報	Electronics & Information Engineering	1					1
	メカトロニクス	Mechatronics	1					1
	制 御 工 学	Control Engineering	2					2
	生 産 管 理 工 学	Industrial Engineering	1					1
	工 業 英 語	Technical English	2					2
	機 械 実 習 I	Workshop Practice I	2	2				
	機 械 実 習 II	Workshop Practice II	4		4			
	機 械 創 造 演 習	Creative Mechanical Practice	2			2		
	機 械 基 礎 製 図 I	Basic Mechanical Drawing I	2	2				
	機 械 基 礎 製 図 II	Basic Mechanical Drawing II	2		2			
	機 械 設 計 製 図 I	Mechanical Design & Drawing I	2			2		
	機 械 設 計 製 図 II	Mechanical Design & Drawing II	2				2	
	機 械 工 学 実 験 I	Mechanical Engineering Laboratory I	4				4	
	機 械 工 学 実 験 II	Mechanical Engineering Laboratory II	2					2
	卒 業 研 究	Graduation Thesis	10					10
	専門必修科目開講単位数合計	Total of Offered Credits of Major Subjects	84	8	9	17	27	23

*1 数学基礎演習及び数学応用演習は、いずれか一方のみ受講可能

*1 Only as for either, "Basic Exercises in Mathematics" and "Advanced Exercises in Mathematics" can be taken.

選択科目 Elective Subjects

授 業 科 目 Subjects			単位数 Number of Credits	学年別配当 Distribution by Years				
				1 1st	2 2nd	3 3rd	4 4th	5 5th
選択科目 Elective Subjects	第 2 外 国 語	Second Foreign Language	2					2
	実 践 英 語 ○	Practical English	2					2
	工 業 材 料 ○	Engineering Materials	2					2
	ロ ボ ッ ト 工 学 ○	Robotics	2					2
	シミュレーション工学 ○	Simulation Engineering	2					2
	シーケンス制御 ○	Sequential Control	2					2
	画 像 情 報 処 理 ○	Image Processing	2					2
	選択科目開講単位数合計	Total of Offered Credits of Elective Subjects	14					14
一般必修科目単位数合計			77	26	25	17	7	2
専門必修科目単位数合計			84	8	9	17	27	23
選択科目最低修得単位数合計			6					6
修 得 単 位 合 計			167	34	34	34	34	31

○の科目は学修単位

○:Equivalent to university credits

専門科目 Major Subjects

電気工学科 Electrical Engineering

授 業 科 目 Subjects			単位数 Number of Credits	学年別配当 Distribution by Years				
				1 1st	2 2nd	3 3rd	4 4th	5 5th
必修科目 Required Subjects	応 用 数 学 A	Applied Mathematics A	1				1	
	応 用 数 学 B	Applied Mathematics B	2				2	
	確 率 ・ 統 計 I	Probability & Statistics I	1				1	
	確 率 ・ 統 計 II	Probability & Statistics II	1					1
	応 用 物 理 I	Applied Physics I	2			2		
	応 用 物 理 II	Applied Physics II	1					1
	電 気 数 学	Mathematics Exercise for Electrical Engineering	1	1				
	電 気 工 学 基 礎 I	Introduction to Electrical Engineering I	2	2				
	電 気 工 学 基 礎 II	Introduction to Electrical Engineering II	2		2			
	回 路 基 礎	Basic Electric Circuits	2		2			
	電 気 回 路 I	Circuit Theory I	2			2		
	電 気 回 路 II	Circuit Theory II	2				2	
	電 気 磁 気 学 I	Electromagnetics I	2			2		
	電 気 磁 気 学 II	Electromagnetics II	2				2	
	デジタル回路基礎	Introduction to Digital Circuits	2	2				
	電 子 回 路 I	Electronic Circuit Analysis I	2			2		
	電 子 回 路 II	Electronic Circuit Analysis II	2				2	
	電 気 電 子 計 測	Instrumentation for Electricity & Electronics	1			1		
	制 御 工 学 I	Control Engineering I	1				1	
	制 御 工 学 II	Control Engineering II	2					2
	コンピュータリテラシー	Computer Literacy	1	1				
	プログラミング I	Programming I	2		2			
	プログラミング II	Programming II	2			2		
	プログラミング III	Programming III	2				2	
	電 気 機 器 I	Electrical Machinery & Apparatus I	2			2		
	電 気 機 器 II	Electrical Machinery & Apparatus II	1				1	
	パワーエレクトロニクス	Power Electronics	1					1
	電 力 工 学 I	Power System Engineering I	1				1	
	電 力 工 学 II	Power System Engineering II	1					1
	電 子 物 性	Electronic Properties	1				1	
	半導体デバイス工学	Semiconductor Device Engineering	2				2	
	電 気 材 料	Electrical Engineering Materials	2					2
	情 報 通 信 工 学 I	Information & Communication Engineering I	2				2	
	情 報 通 信 工 学 II	Information & Communication Engineering II	2					2
	電 気 工 学 演 習 I	Exercise in Electrical Engineering I	1		1			
	電 気 工 学 演 習 II	Exercise in Electrical Engineering II	1			1		
	電 気 工 学 演 習 III	Exercise in Electrical Engineering III	1				1	
	製 図	Drawing	2	2				
	電気電子工学基礎実験	Basic Electrical & Electronic Engineering Laboratory	2		2			
	電気電子工学実験 I	Electrical & Electronic Engineering Laboratory I	3			3		
	創 造 工 学 実 験	Creative Engineering Laboratory	6				6	
	電気電子工学実験 II	Electrical & Electronic Engineering Laboratory II	3					3
	卒 業 研 究	Graduation Thesis	10					10
	専門必修科目開講単位数合計	Total of Offered Credits of Major Subjects	84	8	9	17	27	23

選択科目 Elective Subjects

授 業 科 目 Subjects			単位数 Number of Credits	学年別配当 Distribution by Years				
				1 1st	2 2nd	3 3rd	4 4th	5 5th
選択科目 Elective Subjects	第 2 外 国 語	Second Foreign Language	2					2
	実 践 英 語 ○	Practical English	2					2
	シーケンス制御 ○	Sequential Control	2					2
	電力系統工学 ○	Power Network System Engineering	2					2
	基礎電波工学 ○	Introduction to Electromagnetic Waves	2					2
	電 気 法 規 ○	Laws & Regulations of Electrical Power Industry	2					2
	ロ ボ ッ ト 工 学 ○	Robotics	2					2
	画 像 情 報 処 理 ○	Image Processing	2					2
	選択科目開講単位数合計	Total of Offered Credits of Elective Subjects	16					16
一般必修科目単位数合計			77	26	25	17	7	2
専門必修科目単位数合計			84	8	9	17	27	23
選択科目最低修得単位数合計			6					6
修 得 単 位 合 計			167	34	34	34	34	31

○の科目は学修単位

○:Equivalent to university credits

専門科目 Major Subjects

電子情報工学科 Electronics & Information Engineering

授 業 科 目 Subjects		単位数 Number of Credits	学年別配当 Distribution by Years					
			1 1st	2 2nd	3 3rd	4 4th	5 5th	
必修科目 Required Subjects	応 用 数 学 A	Applied Mathematics A	1				1	
	応 用 数 学 B	Applied Mathematics B	2				2	
	確 率 ・ 統 計 I	Probability & Statistics I	1				1	
	確 率 ・ 統 計 II	Probability & Statistics II	1					1
	数 学 基 礎 演 習	Basic Exercise in Mathematics	1				1	
	数 学 応 用 演 習 Ⅰ	Advanced Exercise in Mathematics						
	応 用 物 理 I Ⅰ	Applied Physics I	2			2		
	応 用 物 理 II	Applied Physics II	1				1	
	電子情報工学基礎 I	Introduction to Electronics & Information Engineering I	2	2				
	電子情報工学基礎 II	Introduction to Electronics & Information Engineering II	2		2			
	回 路 基 礎	Basic Electric Circuits	2		2			
	デ ィ ジ タ ル 回 路	Digital Circuits	1		1			
	電 気 回 路 I	Circuit Theory I	2			2		
	電 気 回 路 II	Circuit Theory II	1			1		
	電 子 回 路 I	Electronic Circuit Analysis I	2			2		
	電 子 回 路 II	Electronic Circuit Analysis II	1				1	
	電 磁 気 学 I	Electromagnetics I	2			2		
	電 磁 気 学 II	Electromagnetics II	2			2		
	電 子 デ バ イ ス	Electron Devices	2			2		
	コンピュータアーキテクチャ	Computer Architecture	2			2		
	オペレーティングシステム	Operating System	1			1		
	デ ー タ ベ ース	Database	1			1		
	情 報 基 礎	Basic Information	2	2				
	プログラミング基礎 I	Basic Programming I	2	2				
	プログラミング基礎 II	Basic Programming II	2		2			
	アルゴリズムとデータ構造	Algorithm & Data Structure	2			2		
	ハードウェア設計工学	Hardware Design Engineering	2			2		
	プログラミング応用演習	Programming Application Exercise	1			1		
	ソフトウェア工学	Software Engineering	2				2	
	コ ン パ イ ラ	Compiler	1				1	
	情 報 数 学	Information Mathematics	1				1	
	V L S I 工 学	VLSI Engineering	1				1	
	情 報 理 論	Information Theory	2			2		
	デジタル信号処理	Digital Signal Processing	2				2	
	制 御 工 学	Control Theory	2				2	
	情 報 通 信 I	Communication Engineering I	1			1		
	情 報 通 信 II	Communication Engineering II	2				2	
	情 報 通 信 III	Communication Engineering III	1				1	
	情報セキュリティ	Information Security	1				1	
	電子情報工学総合演習	Comprehensive Exercise of Electronics & Information System	2				2	
	システム設計演習	Practice in Design of Electronics & Information System	2				2	
	電子情報工学実験 I	Electronics & Information Engineering Laboratory I	2	2				
	電子情報工学実験 II	Electronics & Information Engineering Laboratory II	2		2			
	電子情報工学実験 III	Electronics & Information Engineering Laboratory III	2			2		
	電子情報工学実験 IV	Electronics & Information Engineering Laboratory IV	4				4	
	電子情報工学実験 V	Electronics & Information Engineering Laboratory V	1				1	
	卒 業 研 究	Graduation Thesis	10					10
	専門必修科目開講単位数合計	Total of Offered Credits of Major Subjects	84	8	9	17	27	23

*1 数学基礎演習及び数学応用演習は、いずれか一方のみ受講可能

*1 Only as for either, "Basic Exercises in Mathematics" and "Advanced Exercises in Mathematics" can be taken.

選択科目 Elective Subjects

授 業 科 目 Subjects			単位数 Number of Credits	学年別配当 Distribution by Years				
				1 1st	2 2nd	3 3rd	4 4th	5 5th
選択科目 Elective Subjects	第 2 外 国 語	Second Foreign Language	2					2
	実 践 英 語 ○	Practical English	2					2
	システム数理工学	Systems Mathematical Engineering	2					2
	人 工 知 能 ○	Artificial Intelligence	2					2
	画 像 情 報 処 理 ○	Image Processing	2					2
	ロ ボ ッ ト 工 学 ○	Robotics	2					2
	シーケンス制御 ○	Sequential Control	2					2
	選択科目開講単位合計		Total of Offered Credits of Elective Subjects	14				
一般必修科目単位合計		Total of Required Credits of General Subjects	77	26	25	17	7	2
専門必修科目単位合計		Total of Required Credits of Major Subjects	84	8	9	17	27	23
選択科目最低修得単位合計		Total of Required Credits of Elective Subjects	6					6
修 得 単 位 合 計		Total of Required Credits	167	34	34	34	34	31

○の科目は学修単位

○:Equivalent to university credits

専門科目 Major Subjects

環境都市工学科 Civil Engineering

授 業 科 目 Subjects			単位数 Number of Credits	学年別配当 Distribution by Years				
				1 1st	2 2nd	3 3rd	4 4th	5 5th
必修科目 Required Subjects	確 率 ・ 統 計	Probability & Statistics	2				2	
	応 用 数 学	Applied Mathematics	1				1	
	応 用 力 学	Applied Mechanics	2				2	
	環境都市工学基礎	Introduction to Civil Engineering	2	2				
	コンピュータリテラシー	Computer Literacy	2	2				
	プ ロ グ ラ ミ ン グ	Programming	2		2			
	C A D	CAD	1	1				
	土 木 史	History of Civil Engineering	1	1				
	構 造 力 学 I	Structural Mechanics I	1		1			
	構 造 力 学 II	Structural Mechanics II	3			3		
	構 造 力 学 III	Structural Mechanics III	2				2	
	鋼 構 造 学	Technology of Steel Structure	2				2	
	水 理 学 I	Hydraulics I	3			3		
	水 理 学 II	Hydraulics II	2				2	
	土 質 力 学 I	Soil Mechanics I	3			3		
	土 質 力 学 II	Soil Mechanics II	2				2	
	コンクリート工学	Concrete Engineering	2			2		
	コンクリート構造学	Technology of Concrete Structure	3				3	
	維 持 管 理 工 学	Maintenance Engineering	1					1
	測 量 学 I	Surveying I	1	1				
	測 量 学 II	Surveying II	1		1			
	測 量 学 III	Surveying III	1				1	
	環境システム工学	Engineering of Environment System	2		2			
	上 下 水 道 工 学	Water Supply & Sewage Engineering	2				2	
	環 境 保 全 工 学	Environmental Conservation Engineering	2					2
	計 画 数 理	Mathematics for Planning	2				2	
	都 市 計 画	Urban Planning	1	1				
	交 通 計 画	Transportation Planning	2			2		
	耐 震 防 災 工 学	Earthquake-proof Construction & Hazard Prevention Engineering	3					3
	土 木 数 学	Mathematics in Civil Engineering	1			1		
	環境都市工学設計製図 I	Design & Drawing for Civil Engineering I	2				2	
	環境都市工学設計製図 II	Design & Drawing for Civil Engineering II	2					2
	環境都市工学実験 I	Experiment of Civil Engineering I	2			2		
	環境都市工学実験 II	Experiment of Civil Engineering II	2				2	
	環境都市工学実験 III	Experiment of Civil Engineering III	2					2
	測 量 学 実 習 I	Field Practice of Surveying I	3		3			
	測 量 学 実 習 II	Field Practice of Surveying II	1			1		
	環境都市工学総合演習 I	Comprehensive Exercise of Civil Engineering I	2				2	
	環境都市工学総合演習 II	Comprehensive Exercise of Civil Engineering II	3					3
	卒 業 研 究	Graduation Thesis	10					10
	専門必修科目開講単位合計	Total of Offered Credits of Major Subjectss	84	8	9	17	27	23

選択科目 Elective Subjects

授 業 科 目 Subjects			単位数 Number of Credits	学年別配当 Distribution by Years				
				1 1st	2 2nd	3 3rd	4 4th	5 5th
選択科目 Elective Subjects	第 2 外 国 語	Second Foreign Language	2					2
	実 践 英 語 ○	Practical English	2					2
	計 算 工 学 ○	Computational Engineering	2					2
	河川・水資源工学 ○	River & Water Resources Engineering	2					2
	地 盤 工 学 ○	Geotechnical Engineering	2					2
	交 通 工 学 ○	Traffic Engineering	2					2
	アーバンデザイン ○	Urban Design	2					2
	選択科目開講単位合計	Total of Offered Credits of Elective Subjects	14					14
一般必修科目単位合計			77	26	25	17	7	2
専門必修科目単位合計			84	8	9	17	27	23
選択科目最低修得単位合計			6					6
修 得 単 位 合 計			167	34	34	34	34	31

○の科目は学修単位

○:Equivalent to university credits

専門科目 Major Subjects

建築学科 Architecture

授 業 科 目 Subjects			単位数 Number of Credits	学年別配当 Distribution by Years				
				1 1st	2 2nd	3 3rd	4 4th	5 5th
必修科目 Required Subjects	確 率 ・ 統 計	Probability & Statistics	2				2	
	応 用 数 学	Applied Mathematics	1				1	
	応 用 力 学	Applied Mechanics	1				1	
	建 築 学 基 礎	Introduction to Architecture	1	1				
	コンピュータリテラシー	Computer Literacy	1	1				
	建 築 C A D 基 礎	Basic CAD	1			1		
	建 築 C A D 応 用	Applied CAD	1				1	
	建築情報処理演習	Information Processing for Architecture	1					1
	造 形 演 習	Plastic Arts Exercise	1			1		
	建築計画学基礎	Fundamentals to Architectural Planning	1		1			
	建築計画学	Architectural Planning	2			2		
	建築計画学演習	Exercise of Architectural Planning	1				1	
	地域・都市計画	Regional & Town Planning	1					1
	日 本 建 築 史	History of Japanese Architecture	1		1			
	西 洋 建 築 史	History of Western Architecture	1	1				
	近 代 建 築 史	History of Modern Architecture	1			1		
	建 築 材 料	Building Materials	1				1	
	建築材料実験	Experiment of Building Materials	1				1	
	建 築 構 造 法	Building Construction	1			1		
	建築防災工学	Disaster Mitigation Engineering	1					1
	鉄筋コンクリート構造Ⅰ	Reinforced Concrete Structure I	1				1	
	鉄筋コンクリート構造Ⅱ	Reinforced Concrete Structure II	1					1
	鉄 骨 構 造 Ⅰ	Steel Structure I	1				1	
	鉄 骨 構 造 Ⅱ	Steel Structure II	1					1
	構造力学基礎	Basic Structural Mechanics	1	1				
	構造力学Ⅰ	Structural Mechanics I	1		1			
	構造力学Ⅱ	Structural Mechanics II	2			2		
	構造力学Ⅲ	Structural Mechanics III	2				2	
	建築構造設計論	Theory of Structural Design	1					1
	建築振動論	Dynamics of Structure	1					1
	土質基礎工学	Geotechnical Engineering	1					1
	建築環境工学Ⅰ	Environmental Science for Architecture I	2			2		
	建築環境工学Ⅱ	Environmental Science for Architecture II	2				2	
	建築環境工学Ⅲ	Environmental Science for Architecture III	1					1
	建築設備計画Ⅰ	Building Equipment Planning I	1			1		
	建築設備計画Ⅱ	Building Equipment Planning II	1				1	
	測 量 学	Surveying	1				1	
	測量学演習	Exercise of Surveying	1					1
	建築生産Ⅰ	Building Production I	1				1	
	建築生産Ⅱ	Building Production II	1					1
	建築法規	Building Code	2					2
	建築工学総合演習	Comprehensive Exercise of Architectural Engineering	1				1	
	建築設計Ⅰ	Architectural Design I	4	4				
	建築設計Ⅱ	Architectural Design II	6		6			
	建築設計Ⅲ	Architectural Design III	6			6		
	建築設計Ⅳ	Architectural Design IV	6				6	
	課 題 演 習	Special Seminar	3				3	
	卒業研究	Graduation Thesis	10					10
	専門必修科目開講単位合計	Total of Offered Credits of Major Subjects	84	8	9	17	27	23

選択科目 Elective Subjects

授 業 科 目 Subjects			単位数 Number of Credits	学年別配当 Distribution by Years				
				1 1st	2 2nd	3 3rd	4 4th	5 5th
選択科目 Elective Subjects	応 用 物 理 ○	Applied Physics	2					2
	第 2 外 国 語	Second Foreign Language	2					2
	実 践 英 語 ○	Practical English	2					2
	建築デザイン論 ○	Design Theories in Architecture	2					2
	アーバンデザイン ○	Urban Design	2					2
	交 通 工 学 ○	Transportation Engineering	2					2
	建築環境・設備ソリューション ○	Architectural Environment & Equipment Solutions	2					2
選択科目開講単位合計			14					14
一般必修科目単位合計			77	26	25	17	7	2
専門必修科目単位合計			84	8	9	17	27	23
選択科目最低修得単位合計			6					6
修 得 単 位 合 計			167	34	34	34	34	31

○の科目は学修単位

○:Equivalent to university credits

令和5年度入学者から本課程を適用しています。

This curriculum is applied to the first-year students in the year 2023, and those who will be admitted hereafter.

専攻科一般科目 General Subjects

各専攻共通
Common to Each Course

授 業 科 目 Subjects	単位数 Number of Credits	学年別配当 Distribution by Years		備 考 remark
		1 1st	2 2nd	
日 本 語 表 現 Japanese Expression	2	2		必修 Required
英語コミュニケーションⅠ English Communication I	2	2		必修 Required
英語コミュニケーションⅡ English Communication II	2		2	必修 Required
日 本 文 化 論 Japanese Culture	2		2	必修 Required
健 康 科 学 Health Science	2		2	必修 Required
一般科目開設単位数合計 Total of Offered Credits of General Subjects		10		
一般科目修得単位数合計 Total of Required Credits of General Subjects		10		

専攻科専門科目 Specialized Subjects

電子機械工学専攻
Electronic and Mechanical Engineering Course

授 業 科 目 Subjects	単位数 Number of Credits	学年別配当 Distribution by Years		備 考 remark
		1 1st	2 2nd	
専 門 共通科目 Specialized Common Subjects	インターンシップ Internship	7	7	必修 Required
	環 境 技 術 Introduction to Environmental Technology	2	2	必修 Required
	技 術 者 倫 理 Ethics for Engineers	2	2	必修 Required
	線 形 代 数 Linear Algebra	2	2	必修 Required
	数理・データサイエンス・AI Mathematics-Data Science-AI	2	2	必修 Required
	サステナビリティ・サイエンス Sustainability Science	2		選択 Elective
	離 散 数 学 Discrete Mathematics	2	2	選択 Elective
	量 子 力 学 Quantum Mechanics	2	2	選択 Elective
専門共通科目開設単位数合計 Total of Offered Credits of Specialized Common Subjects		21		
専門共通科目修得単位数合計 Total of Required Credits of Specialized Common Subjects		17単位以上(必修科目15単位を含む) 17 or more		
専 門 展開科目 Specialized Advanced Subjects	特 別 研 究 Ⅰ Graduation Research I	6	6	必修 Required
	特 別 研 究 Ⅱ Graduation Research II	8	8	必修 Required
	創 造 工 学 演 習 Ⅰ Creative Engineering Project I	3	3	必修 Required
	創 造 工 学 演 習 Ⅱ Creative Engineering Project II	4	4	必修 Required
	電 子 機 械 概 論 Introduction to Electronics and Mechanical Engineering	2	2	必修 Required
	セ ン サ 工 学 Sensing Technology	2	2	必修 Required
	IoT システム概論 Introduction to IoT Systems	2	2	必修 Required
	計 測 制 御 工 学 Control System Design	2	2	必修 Required
	エネルギー管理工学 Energy Management	2	2	必修 Required
	エネルギー機械工学 Mechanical Engineering for Energy	2	2	選択 Elective
	機 械 設 計 工 学 Mechanical Design Engineering	2	2	選択 Elective
	機 能 素 子 工 学 Electronic Functional Device Engineering	2	2	選択 Elective
	電 磁 応 用 工 学 Applied Electromagnetic Engineering	2	2	選択 Elective
	生 体 情 報 工 学 Biological Information Engineering	2	2	選択 Elective
	メ デ ィ ア 工 学 Media Engineering	2	2	選択 Elective
専門展開科目開設単位数合計 Total of Offered Credits of Specialized Advanced Subjects		43		
専門展開科目修得単位数合計 Total of Required Credits of Specialized Advanced Subjects		35単位以上(必修科目31単位を含む) 35 or more		

一般科目を含む開設単位数合計 Total of Offered Credits of General Subjects and Specialized Subjects	74
一般科目を含む修了に要する修得単位数合計 Total of Required Credits of General Subjects and Specialized Subjects	62単位以上(1年次30単位以上) 62 or more (30 or more in 1st Year)

(備考) 1年次配当の総修得単位数が30単位に満たない者は、2年次配当の創造工学演習Ⅱを履修できない。

(Note) Students must get 30 or more credits in their first year in order to take Creative Engineering Project II in their second year.

すべて学修単位科目

All credits are equivalent to university credits

専攻科専門科目 Specialized Subjects

環境建設工学専攻 Architecture and Civil Engineering Course

授 業 科 目 Subjects		単位数 Number of Credits	学年別配当 Distribution by Years		備 考 remark
			1 1st	2 2nd	
専 門 共通科目 Specialized Common Subjects	インターンシップ Internship	7	7		必修 Required
	環 境 技 術 Introduction to Environmental Technology	2		2	必修 Required
	技 術 者 倫 理 Ethics for Engineers	2	2		必修 Required
	線 形 代 数 Linear Algebra	2	2		必修 Required
	数理・データサイエンス・AI Mathematics-Data Science-AI	2	2		必修 Required
	サステナビリティ・サイエンス Sustainability Science	2	2		選択 Elective
	離 散 数 学 Discrete Mathematics	2		2	選択 Elective
量 子 力 学 Quantum Mechanics		2		2	選択 Elective
専門共通科目開設単位数合計 Total of Offered Credits of Specialized Common Subjects		21			
専門共通科目修得単位数合計 Total of Required Credits of Specialized Common Subjects		17単位以上(必修科目15単位を含む) 17 or more			
専 門 展開科目 Specialized Advanced Subjects	特 別 研 究 I Graduation Research I	6	6		必修 Required
	特 別 研 究 II Graduation Research II	8		8	必修 Required
	創造工学演習 I Creative Engineering Project I	3	3		必修 Required
	創造工学演習 II Creative Engineering Project II	4		4	必修 Required
	建設材料学 Construction Materials	2	2		必修 Required
	地盤材料工学 Geomaterial Engineering	2	2		必修 Required
	振動・波動工学 Vibration and Wave Propagation Engineering	2	2		必修 Required
	建築環境調整論 Regulation Theory of Architectural Environment	2	2		必修 Required
	住生活文化論 Advanced Theories of Dwelling	2	2		必修 Required
	交通基盤工学 Engineering of Transportation Infrastructures	2		2	選択 Elective
	水圏環境工学 Hydrosphere Engineering	2		2	選択 Elective
	人間・環境デザイン論 Design Theory of Human Environment	2		2	選択 Elective
	環境景観論 Theory of Daily Milieu and Landscape	2		2	選択 Elective
専門展開科目開設単位数合計 Total of Offered Credits of Specialized Advanced Subjects		39			
専門展開科目修得単位数合計 Total of Required Credits of Specialized Advanced Subjects		35単位以上(必修科目31単位を含む) 35 or more			
一般科目を含む開設単位数合計 Total of Offered Credits of General Subjects and Specialized Subjects		70			
一般科目を含む修了に要する修得単位数合計 Total of Required Credits of General Subjects and Specialized Subjects		62単位以上 (1年次30単位以上) 62 or more (30 or more in 1st Year)			

(備考) 1年次配当の総修得単位数が30単位に満たない者は、2年次配当の創造工学演習IIを履修できない。
(Note) Students must get 30 or more credits in their first year in order to take Creative Engineering Project II in their second year.
すべて学修単位科目
All credits are equivalent to university credits

共同利用施設

Joint-use Facilities

情報戦略基盤センター

Information Strategy and Technology Center

情報戦略基盤センターは、学内共同利用施設として学術研究や講義、実験実習、卒業研究、また公開講座等に、学生・教職員を問わず幅広く利用されています。当センターでは、情報処理演習室、主要ネットワークサーバ、校内ギガビットネットワーク、無線 LAN の維持管理や、情報セキュリティ対策を実施しています。

4 つの情報処理演習室と小演習室に計 150 台のデスクトップパソコンを設置しており、プログラミング演習、数値解析およびレポートやプレゼンテーション資料の作成などの様々な教育・研究環境を提供しています。また無線 LAN により校内どこからでもネットワークが利用でき、一般教室でも情報処理演習が可能です。

さらにパソコンやネットワークなどを利用して教育を行う e-learning 環境も整備されており、学校内だけでなく自宅からも自学自習ができるようになっています。以上のように、当センターは利用者の自主性と創造性を尊重し、充実した教育・研究環境の実現を目指す本校の中核施設として大きな役割を担っています。

The Information Strategy and Technology Center, a facility for common use on the campus, is available for a wide range of activities such as scientific research, lectures, experiments, training, extension courses and graduation research. We manage the information processing rooms, network servers, campus gigabit-ethernet, wireless LAN and supervise information security.

The center's information processing rooms are equipped with 150 computers in total. These rooms provide an educational and research-oriented atmosphere where students can do activities such as writing reports, making presentation materials, studying programming or doing numerical analyses. Thanks to the wireless LAN, the network can be accessed from anywhere on campus, so even in the general classrooms it is possible to access valuable resources.

Furthermore, the e-learning environment is arranged to deliver education by utilising computers and networks to enable self-learning from school or from home. The Information Processing Center plays the important role of being the school's main facility that is in charge of providing a rich education and research environment and is dedicated to fostering the independence and creativity of its users.



情報戦略基盤センター演習室での授業の様子



演習用PCを10台備える小演習室



サーバ室に設置された基幹サーバやネットワーク機器

図書館・視聴覚教室

Library and Audio Visual Classroom

図書館棟は、閲覧室、書庫、マルチメディアルーム、ラーニング・コモンズおよび視聴覚教室等で構成されており、収集している資料は、理工系分野の図書・雑誌はもとより、各分野の専門書や一般教養書、BD(ブルーレイディスク)、DVD、CD等多岐にわたっています。また、電子ジャーナルや文献検索データベースの利用も可能となっています。

ラーニング・コモンズは42席を保有し、1クラスを一堂に収容することができます。可動式の椅子や机、ホワイトボード等が設置され、グループでの学習が可能となっています。

一方、視聴覚教室は231座席を保有し、1学年を一堂に収容できる規模となっています。本教室には、国外からの授業、講演も可能な視聴覚機器や教材を導入しています。

図書館の利用については、本校の学生、教職員のみならず、地域住民に対しても広く開放しています。

The library building is made up of Reading Room, Stack Room, Multi-media Room, Learning Commons, and Audio Visual Classroom. It possesses not only technical books of various fields but books in general, series, and periodicals. There is also a collection of blu-ray discs, DVDs and compact discs. Electronic journals and online database search are also available.

The room called Learning Commons seats 42 people, which almost equals the number of students in one class. Since it is equipped with movable chairs, tables, and whiteboards, they may study in a small group if they want to.

The audiovisual classroom seats 231 people, which is approximately equal to the number of studies in one grade. It is equipped with various mechanical equipment so that we can utilize up-to-date audio-visual materials for teaching.

The library is open to local residents as well as our students and staff members.

開館時間 Library Hours

曜 日	平 常	休 業 時
月～金	8:30～19:00	8:30～17:00

備考：土曜・日曜・祝日・夏季一斉休業・年末年始は休館。
詳細は、図書館 Web サイトの開館カレンダーを参照してください。
臨時休館は、その都度掲示。

蔵書冊数・種類数 Collection of Book

R5. 3. 31 現在

区 分	単 行 書	雑 誌	電子ブック
和 書	85,427冊	1,321種	121点
洋 書	14,838冊	250種	0点
計	100,265冊	1,571種	121点

視聴覚教材 Audio-Visual Aids (Kinds)

R5. 3. 31 現在

BD	LD	DVD	CD	ROM	レコード
220点	773点	1,105点	577点	147点	160点



図書館閲覧室



ラーニング・コモンズ



視聴覚教室



マルチメディアルーム

トライアル研究センター

TRIAL* Research Center

本センターは、それまでの地域共同技術相談室を発展的に解消して、平成12年2月に学内共同教育研究施設として創設されました。総合技術開発能力のある学生の育成および地域産業界等との共同研究・技術交流により、本校における教育研究活動の一層の推進を図ることを目的としています。業務内容はものづくりの基本的過程を機能的に分けた〈情報〉〈計画〉〈試作〉〈試験・評価〉の4部門から構成されています。建物は平成12年度末に完成し、ものづくりの可能性に研究領域の枠を超えてトライ（挑戦）できる場として、また地域産業に密着した技術教育の場として活用されています。さらに、小中高生の体験教育や社会人のリフレッシュ教育を通して地域社会に開かれた施設としても位置づけられています。

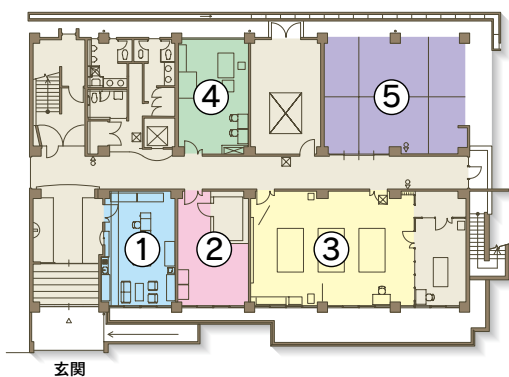
The TRIAL* Research Center (Regional Collaboration Center for Technology) was established in February 2000.

This center for joint study aims to improve students' ability for technical development, and to promote joint research and technical exchange with the local industry, which can stimulate education and research activities in our college. In accordance with the creative process, what we do in this center is functionally divided into four sections : information, planning, trial manufacturing, and testing and evaluation. The building for this center was completed at the end of the year 2000. The center is expected to be utilized as a place where one can try to create things beyond his or her field of research, and where one can learn technology which is closely connected with the traditional local industry. Moreover, it is open for the regional community, is used for our college tour by students from elementary schools, junior and senior high schools, and is a place for continued education.

TRIAL*: Technology, Research, Integration, Assessment, Liability

トライアル研究センター建物平面図

1 階平面図



①地域等交流推進室

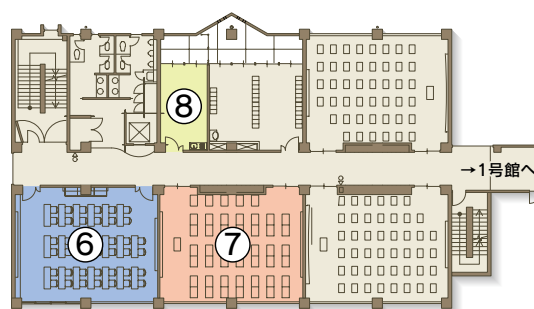
②材料分析室

③試作開発室

④ X 線回折室

⑤ものづくり広場

2 階平面図



⑥ゼミ室

⑦基礎情報教育演習室

⑧科学技術相談室

技術教育支援センター

The Technology and Education Support Center

技術教育支援センターは、機械制御班、電気電子情報班、建設環境物質班の3つの班の体制で、副校長（管理運営）の下に組織されています。

技術職員全員が連携して、本校における教育支援・技術支援を行うとともに、出前授業・公開講座などの地域貢献に関する業務や、外部資金の獲得も積極的に行っています。

技術教育への更なる向上と幅広い支援業務を行うとともに、教室系技術職員の能力および資質の向上を目指しています。

The Technology and Education Support Center is assigned under the school vice president and there are three groups; the Mechanical Control, Electronics and IT, and Architectural/Civil Engineering Materials.

All the center members cooperate in contributing to the region areas through continued education as well as by offering educational support and technical assistance at school. Members have also successfully applied for scientific research projects.

With the goal of improving engineering education and support services, the center aims to enhance efficiency of a wider range of service operations and the aptitude of "classrooms' technology instructors".



技術教育支援センター入口



出前授業の様子

機械実習工場

Machine Shop

機械実習工場は、実践的な技術者教育を目指す高専には必要不可欠な施設であり、設備の充実に特に力を注いでいます。安全教育を含めた機械実習は、機械工学科1～3年次において旋盤、特殊機械、鋳造、鍛造、溶接、手仕上げの6項目を中心に実施されています。さらに学生は、卒業研究における試験片や試験装置の製作、ロボコン等を目的としたメカトロニクス分野でのロボット製作に広く実習工場を利用しています。実習工場は学生の技術の向上、応用力の養成に大きな役割を果たしています。

This shop is essential for the College of Technology to encourage their students to be practical and creative engineers. Our equipment in the shop is the state of the arts. Here the 1st, 2nd, and 3rd year students of the Mechanical Engineering Course learn how to operate and practice lathing, miscellaneous machining, casting, forging, welding, and hand finishing. The students use the shop to make test-pieces or test-devices for their theses, and to make robots with mechatronics for the Kosen Robot Contest. It plays a very important role in helping students improve their skills and put them into practice.



5軸マシニングセンタ



炭酸ガスレーザー加工機

風洞実験棟

Wind Tunnel

風洞実験棟は、学内共同利用施設として、機械工学科の流体力学実験、卒業研究、専攻科での研究実験などに利用されています。風洞の仕様および付帯測定装置は、次のとおりです。

○風洞仕様

エッフェル型、開放・密閉双方可能、
測定部：1000×1000×2000mm、風速範囲：1～30m/s、
X-Y-Z方向トラバース装置

○付帯測定装置

熱線風速計、PIVシステム、可視化煙発生装置、精密微小圧力測定器



The facility is shared by all the departments and mainly used for fluid dynamics experiments. Also it is used for graduation research of Department of Mechanical Engineering and Advanced Engineering course.

○Wind Tunnel Specifications

Eiffel-type, available for open and closed test section use. Test section: 1000×1000×2000mm, Velocity range : 1 ~ 30m/s, with X-Y-Z Traversing unit.

○Attached Measurement Apparatus

Hot wire anemometer, PIV system, smoke generator for visualization, high-precision micro manometer.

高電圧実験棟

High Voltage Laboratory

高電圧実験棟は一部3階建て、大部分が3階高さまでの吹き抜けホールという特徴のある建物です。1階ホールは高電圧実験室で交流(100kV)、直流(50kV)、インパルス(公称400kV)の各種高電圧を発生できる装置など、2階は送電工学実験室で実際の275kV送電線系統を模擬した装置など、3階は電力応用実験室で送配電線保護リレーや低周波磁界測定装置などがそれぞれ配備されています。主として電気工学科電力エネルギー工学関連の実験・研究を行っています。

The high voltage laboratory building is three stories high with an atrium. The first floor consists of equipment that can produce such high voltages as alternating current (100kV), direct current (50kV), and impulse (officially 400kV). On the second floor we have the power transmission laboratory with an apparatus modeled after the 275kV transmission system, and the third floor is the applied electricity laboratory, where we have a transmission protection relay and a low frequency magnetic field measuring instrument. In the high voltage laboratory we study and carry out experiments on electricity.



高電圧実験装置

福利施設

Welfare Facilities

福利厚生施設「養高館」 Welfare Building “Yoko-kan”

昭和 56 年 2 月に完成の複合厚生施設です。
館内には、食堂・売店をはじめとして、学生生活面での利便のみならず、文化活動の面においても幅広く利用されています。また、平成 16 年 4 月からは生活協同組合がスタートして福利厚生機能が強化された施設となっています。



The Yoko-kan building was completed in February, 1981. It has a cafeteria and a store designed for the benefit of the students and the staff. After a building renovation in 2011, it is planned to have rooms for club activities and a multipurpose room. In April, 2004, the univ. consumers' cooperative union was established, and the welfare of the students and the staff has been greatly improved.

合宿研修施設「自彊館」 Lodging House “Jikyo-kan”

健全な学生生活と豊かな人間性の育成を目的とする課外活動施設として、昭和54年1月に設置されました。
自炊可能な食堂やシャワー等、合宿研修に必要な諸設備が完備されており、長期休業期間中における課外活動等の合宿や研修に利用されています。



The Jikyo-kan building, which was completed in January, 1979, has facilities for club activities. It is used especially for training camps in the spring and summer vacations.

ゲストハウス Guesthouse

本校が所有管理する津幡町横浜宿舍地内に、平成13年4月設置された宿泊等施設です。
当施設内には、談話室（収容人員18人）、洋室3部屋（ツインルーム）、自炊室、台所、浴室が設けられており、本校を訪れる非常勤講師や共同研究者の宿泊施設として、また、教員と学生とのミーティングや職員の会合等のために利用されています。



The guesthouse, which is located on the site of the Yokohama staff-housing facility of INCT, was constructed in April, 2001, as an accommodation facility for staff members of INCT, part-time lecturers, and visitors who come to INCT for lectures or research.

Outline of Facilities:

Rooms : one common room to accommodate 18 people and three Western style twin rooms.

Other facilities : kitchen, bath, restroom and small dining-kitchen.

